

第55回鳥取県健康対策協議会理事会

- 日 時 令和6年7月4日(木) 午後3時～午後4時30分
- 場 所 テレビ会議 鳥取県健康会館 鳥取市戎町
鳥取県中部医師会館 倉吉市旭田町
鳥取県西部医師会館 米子市久米町
- 出席者 49人(役員41人、オブザーバー2人、事務局6人)
オブザーバー：県健康医療局健康政策課(上田課長補佐)
鳥取県保健事業団(米本常務理事兼事務局長)
健対協事務局：岡本事務局長、岩垣次長、田中係長
井上主事、廣瀬主事、桑原主事

司会：岡田理事

規約第6条により、会長は鳥取県医師会長とし、副会長は鳥取大学医学部長及び鳥取県福祉保健部長をあてることとなっている。会長、副会長よりご挨拶があった。

挨拶(要旨)

〈清水正人会長(鳥取県医師会長)〉

6月15日に行われた定例代議員会において、第16代鳥取県医師会長に選任され、同時に本協議会会長に就任したので、よろしくお願いします。

健対協は昭和46年に発足し、令和3年に50周年を迎えた。その間、鳥取県、鳥取大学医学部、鳥取県医師会の三者が一体となって事業を行っており、数々の実績を残している。

本日の理事会は、役員、専門委員等の承認を頂き、主な議題である令和5年度事業報告、令和5年度決算、令和6年度事業計画(案)、令和6年度予算(案)について、慎重なご審議をお願いする。

令和6年度からは、がん対策基本法第12条に基づき、平成20年度からがん死亡率の減少等を目標

に取り組む「鳥取県がん対策推進計画」の第4次計画が開始された。

全体目標としては、がんによる死亡者の減少として、75歳未満がん年齢調整死亡率(人口10万対)を61.0未満にすること、また、がんになっても自分らしく生きることのできる、がんとの共生社会を実現することが掲げられている。健対協としても引き続き、がん予防対策等の総合的ながん対策を推進していく。

皆様方のご意見をいただきながら議論を進めていくので、本日はよろしくお願いします。

〈景山誠二副会長(鳥取大学医学部長)〉

鳥取大学医学部は学生を育て、世の中に送り出すという責務を担っている。昨今、医学部は定員などの様々な問題があり、関係者の方々と協議を行い、学生教育を通じて、皆様と様々な関係を築いているところである。一方、学生を先生方の所へ送り、教育していただいております。今後とも、医学部と鳥取県間、あるいは医師会間等で良い関係を続けていき、鳥取県の医療に貢献していきたいと思っている。本日はよろしくお願いします。

理事の選任（敬称略）

規約7条にもとづき、役員名簿のとおり理事の選任が承認された。また、監事は理事会の同意を得て会長が委嘱することとなり、慣例により、医師会の監事を充てることとなり、承認された。任期は、令和8年3月31日までである。

理事43名に対し39名の出席があり、規約11条第4項により、過半数以上が出席のため、理事会の開催が成立した。

議事進行：議長は清水会長

議 事

1. 令和5年度事業報告

各専門委員会の活動状況について、報告資料をもって説明に代えた（各種検診の令和4年度実績、令和5年度実績見込み、令和6年度事業計画は別表のとおり）（別記1）総合部会（別記2）。

2. 令和5年度決算について

廣瀬主事が説明した（別記3、4）。

県支出金、鳥取県保健事業団支出金、市町村等委託金、その他委託金については、事業の増減によりそれぞれ補正を行い、収入合計額69,331,947円に対し、支出合計額は61,471,145円、収支差引額は7,860,802円である。決算余剰金の処分案として、3,860,802円は令和6年度へ繰越しとし、今後、画像読影機器等の整備のため、400万は特別事業会計へ繰入れる案が示され、審議の結果、承認された。

3. 令和5年度表彰基金決算書、特別事業積立金について

廣瀬主事が説明した（別記5、6）。

「表彰基金」は、昭和58年9月、健対協が保健文化賞を受賞した時の副賞の賞金を基金として、それ以降、鳥取県健康対策協議会会長表彰等で支出を行っている。本年3月末現在の基金総額は169,894円である。

「特別事業積立金」は、定期預金積立金4,046,367

円を、令和5年に肺がん検診X線画像読影機器一式の購入費用のために解約した。また、普通預金1,025,045円は令和6年度へ繰越した。

4. 監査報告

山崎監事より、6月15日監査した結果について適正であった旨の報告があった（別記7）。

令和5年度事業報告、決算書、令和5年度表彰基金決算書及び特別事業積立金について、一括承認した。

5. 専門委員会の構成（案）及び専門委員会委員長及び委員の委嘱、鳥取県生活習慣病検診等管理指導協議会総合部会等委員の委嘱について（別記8、9、10、11、12、13、14、15、16）

岡田理事より、専門委員会の構成（別記8）、「健対協各種専門委員会委員名簿（別記9）」、「鳥取県生活習慣病検診等管理指導協議会総合部会並びに各部会委員名簿（別記10～11）」、「鳥取県母子保健対策協議会委員名簿（別記12）」について説明された。

また、「鳥取県がん登録あり方検討ワーキンググループ委員名簿（別記13）」、「母子保健対策小委員会委員名簿（別記14）」、「拡大新生児マススクリーニング検査小委員会委員名簿（別記15）」、「鳥取県循環器病対策推進に関する小委員会（別記16）」についても、併せて、説明された。任期は、令和8年3月31日まで。

上記については、一括承認した。

6. 令和6年度事業計画（案）について

各専門委員長より本年度の事業計画について、それぞれ説明された（別記17）。

（1）がん登録対策専門委員会：尾崎委員長に代わって岡田理事が説明

2020年標準集計。罹患集計の結果は医師会報、事業報告、ホームページにて公表する。

全国がん登録届出オンラインシステムの利用手続きが開始され、オンラインによる届出が可能となったことをふまえ、今年度も実施する方向で調整を行っていく。

令和6年度鳥取県がん登録事業報告書の印刷・配布（継続）。

日本がん登録協議会第33回学術集会参加（鳥根県出雲市）。

（2）胃がん対策専門委員会：岡田委員長説明

令和6年度は受診者数51,373人で、受診率28.3%の予定である。

働きざかり世代の胃がん対策事業（協会けんぽ鳥取県支部）の最終報告や市町村と連携して行う胃がん対策事業の報告などから、データの集積・分析を行った上で、導入後の効果や問題点等を明確にし、受診率や精検受診率の向上を図るとともに、さらに効果的な事業になるよう引き続き検討を行う。

市町村が実施する、X線検診の読影判定区分改正に伴い、集団（車）検診における慢性胃炎（疑い）の方への通知文書を含め、「胃がん検診」手引きの一部改正を行う予定である。

また、令和7年度以降の胃がん検診実施体制の見直しとして、対象年齢・受診間隔等について、さらに協議し、手引きの改正も含め検討する。

従事者講習会及び症例研究会を中部で開催予定である。

（3）子宮がん対策専門委員会：皆川委員長説明

検診実施状況の評価、特に精検受診率の向上を目指して検討する。

精密検査紹介状及び確定調査結果報告の運用状況を評価する。

HPV単独法による頸がん検診について情報収集を継続し、県内市町村で可能な限り統一した運用の在り方について議論を進め、鳥取県の「手引き」の改訂準備作業に繋げていく。

HPVワクチンについては、定期接種と同時にキャッチアップ接種の接種率向上に向けた接種勧奨に積極的に協力していく。

令和7年2月頃に子宮がん検診従事者講習会及び症例検討会の開催を予定している。

（4）肺がん対策専門委員会：小谷委員長説明

令和6年度の受診者数は58,066人、受診率は

32.0%を予定している。

重点計画としては、徹底した禁煙を推奨し、肺がん罹患率を低下させる。受診率の向上のために引き続き市町村と協力して、肺がん検診の啓発と医療機関検診の推進を図る。早期がん発見率と陽性反応的中度を向上させて、精度管理を向上させる。読影力の向上を目指した各地区の肺がん検診エックス線勉強会を推進する。肺がん検診発見肺がんの予後調査を継続して行い、肺がん検診が肺がん死亡率の減少に寄与するかどうかを蓄積されたデータの下に解析していく。

従事者講習会及び症例検討会を東部で開催予定である。

（5）乳がん対策専門委員会：山口委員長説明

国が推奨するブレスト・アウェアネス（乳房を意識する生活習慣）について、今後、検診の案内等を通して、生活習慣の普及・啓発を行っていく。また、住民にとって不利益の少ない検診受診のあり方を普及していく。

また、従来、本県での乳がん検診の成績は受診率以外のプロセス指標はクリアできていたが、プロセス指標の新基準値が発表され、より精度の高い検診が要求されていることから、要精検率などは圏域によっては新基準が達成できていないこともあり、新基準に合わせた精度管理を行っていく。

乳がん検診受診率向上への取り組みを行う。

東部地区はデジタル読影装置の設置があるが、他地区への導入の検討・働きかけをしていく。

マンモグラフィ読影委員は近年、減少傾向となっており、各委員の負担が大きくなっていることから、新たな読影委員の確保をはたらきかけていきたい。

従事者講習会及び症例研究会を西部で開催予定。

（6）大腸がん対策専門委員会：濱本委員長説明

令和6年度の受診者数は55,463人、受診率は30.6%を予定している。

検診を受けて便潜血が陽性であるにもかかわらず

ず、精密検査を受けずに大腸がんの早期発見の機会を逃すことのないよう、精検受診率の向上に向けた取り組みを継続していく。

大腸がん発見がん確定調査個人票の記入漏れのある報告書が提出されることが多いが、記入漏れの無い報告書を提出するように周知徹底を図り、正確な確定調査および統計処理を行う。

逐年検診受診者の進行がん発見症例のほか、留意すべき症例については各地区の症例検討会において問題点の検討を行う。

従事者講習会及び症例研究会を中部地区で開催される鳥取県医学会のランチョンセミナーと併催する予定。

(7) 肝臓がん対策専門委員会：孝田委員長説明

令和6年度は国庫事業の肝炎ウイルス検査は16市町村で5,477人、市町村単独事業は8町で996人の予定である。

肝臓がん検診により発見されたB型およびC型肝炎ウイルス陽性者に対して、精密検査医療機関を通じ年2回以上の受診を勧奨する。また、肝炎ウイルス検査の精密受診率が45%程度と低下しており、80%以上の受診率を目標に対策を検討する。特に肝炎医療コーディネーターを育成し、コーディネーターによる啓発活動を推進する。

肝臓がん対策専門委員会を、B型肝炎およびC型肝炎ウイルス陽性者に対する経時的経過観察体制の整備および評価を行うことを目的に年2回開催する。NBNC型肝炎がん対策については「健診からの肝臓がん高リスク患者拾い上げ事業（検診拾い上げ事業）」、「糖尿病からの非ウイルス性肝臓がん高リスク患者拾い上げ事業（糖尿病拾い上げ事業）」を継続する。さらに検診拾い上げ事業においてはFIB-4インデックスが高リスク（2.67以上）者に対して、県の事業により定期検査費用の助成（年2回分）が行なわれる。

従事者講習会及び症例研究会を開催予定。

(8) 若年者心臓検診対策専門委員会：吉田委員長説明

若年者心臓検診対策専門委員会を開催予定。

心臓検診従事者講習会を、令和7年2月頃に、学校医研修会と同日に開催予定。

第56回若年者心疾患・生活習慣病対策協議会総会が、令和7年1月26日に岐阜県岐阜市で開催される。

(9) 母子保健対策専門委員会：難波委員長説明

母子保健に関するデータの効果的・効率的な集計・評価・分析のあり方を検討する。

鳥取県産後健康診査事業として、令和2年度から全県で2週間検診及び4週間検診と2回実施されている。また、令和5年度から伴走型相談支援として、妊娠8か月頃の面談等の支援が加わり、妊娠届時から出産後の面談まで市町村での切れ目ない支援が実施される。産後支援の取り組みを一層強化し、母子保健にかかる切れ目ない支援体制構築を継続する。

本県で実施されている5歳児健康診査は、就学後の予後調査（サンプル調査）により、5歳児健康診査での指摘は発達特性による就学後の学校生活の困難さに対するスクリーニングとして有用であることが示された。今後は、国の乳幼児健康診査身体診察マニュアルの改正の動きを見ながら、小委員会において検討を継続し、母子保健事業の資質の向上を目指した施策を検討する。

鳥取県における新生児マスキューニングの対象疾患の追加、実施方法等について検討していく。今年度は、本県における拡大マスキューニング検査をモデル的に実施し、次年度の全県での実施に向けて体制整備を図る。

(10) 疾病構造の地域特性対策専門委員会：瀬川委員長説明

①「鳥取県の肝細胞癌の実態と非ウイルス性肝疾患の拾い上げ事業」

2024年度事業では、以下の3事業を2023年度に引き続き並行して行う。

1. 鳥取県内の拠点9病院（鳥取大学、山陰労災病院、米子医療センター、博愛病院、鳥取県済生会境港総合病院、鳥取県立厚生病院、鳥取県立中央病院、鳥取赤十字病院、

鳥取市立病院)において2023年度に診療した初発肝細胞癌(HCC)の成因やサーベイランスの遵守状況を中心とした実態調査を行う。

2. 鳥取市立病院、鳥取県済生会境港総合病院、日野病院において「FIB-4 index 2.67以上の糖尿病患者」を対象とした非B非C型(NBNC)HCCのサーベイランスを行う。
3. 特定健康診査、後期高齢者健康診断において生活習慣病により受診勧奨となった住民からのFIB-4を用いた、拾い上げ事業および高リスク群に対する定期検査による肝臓がん検診を日野町、日南町、江府町、伯耆町、南部町において行う。

②「2020年の鳥取県におけるがん罹患情報の特性と鳥取県地域がん登録とKDBデータの連結によるがん罹患要因に関する後ろ向きコホート研究 2020年罹患分」

鳥取県のがん罹患、がん死亡の危険因子を明らかにするために、後ろ向きコホート研究を実施する。曝露要因としては、2014-2016年の特定健康診査の受診の有無と健診結果である。帰結要因(エンドポイント)は、2020年のがん罹患およびがん死亡である。

2020年度は、新型コロナウイルス感染症のパンデミックの初年度にあたるので、それががん罹患に与えた影響を検討する。それまでの2017-2019年の3か年の平均的な登録がんの疫学像と2020年の登録がんの疫学像に何らかの差があるかどうかを検討する。これにより、特定の集団がコロナ禍の影響を受けていないかどうかを検討する。

がんの部位別にみた性別、年齢階級別罹患数の比較、鳥取県の東中西部別の比較、がんの進行度、診断経緯、受けた治療などのがん登録情報の比較を行う。2020年度の県内がん検診受診者の減少は認められているので、その影響により、進行度の悪化がないかを検討する。

③「鳥取県におけるCOPDに関する診療ガイドラインなどの利用実態調査」

COPDは喫煙が原因とされる慢性呼吸器疾患である。

厚生労働省が提唱する健康日本21では、第三次目標としてCOPDの死亡率の低下が挙げられている。2021年のCOPDの死亡率は人口10万人あたり2021年度13.3であり、2032年度は10.0が目標とされている。鳥取県のCOPDによる死亡率は14.3と、全国死亡率より高い。高齢化がさらに進んでいく山陰地方においてはCOPDの診断ならびに治療は非常に重要である。

このような背景を踏まえて、鳥取県内の先生にCOPDに関するアンケート調査を行う。具体的にはCOPDガイドライン、COPDに関する質問票などの周知度、呼吸機能検査の実践などについてアンケートを行い、COPDの早期診断およびガイドラインの普及につなげていきたいと考えている。

④「根治的内視鏡治療が可能であった早期食道癌の死因に関するコホート研究」

本研究は、鳥取県内の東部、中部、西部の基幹病院である鳥取県立中央病院、鳥取県立厚生病院、および鳥取大学消化器内科で、2008年度から2016年度までに内視鏡治療で根治できた早期食道癌症例の予後調査を行った(後ろ向きコホート研究)。

この臨床研究では、それまでに蓄積された症例で新たなリスク因子がないか検討(後ろ向きコホート研究)により得られた情報も考慮しながら、2017年度以降の治療症例で1年間存命であった症例を登録していく前向き検討症例で、過去のデータとの比較やリスク因子の検証をしていきたいと考える。最終的には、これらの情報が、県内医療機関での診療や内視鏡治療後のサーベイランスに生かされ、食道癌予防への啓発に生かすようにしていきたい。

⑤「心不全地域連携の調査」

鳥取県西部地区では、医師会と連携して心不

全の地域連携パスを2019年より開始し、心不全の地域連携の標準化を目指している。

令和6年度は、令和5年度の調査をさらに発展させるため、地域連携パス導入前（2017－2018年）と導入後（2019－2022年）の退院後の心不全再入院率や死亡率について調査を行い、かかりつけ医や福祉介護との連携の有効性を検証する。

⑥【母子保健調査研究】「鳥取県における児童・生徒に見られる不登校の要因に関する研究」

鳥取大学医学部附属病院を、不登校を主訴に受診した児童・生徒ならびに診療経過で不登校となった児童・生徒の診療録を後方視的に調査し、関連要因と支援内容ならびに経過を調査する。

(11) 公衆衛生活動対策専門委員会：辻田委員長説明

日本海新聞健康コラム「保健の窓」を計12回、公開健康講座の講演内容について掲載予定。「健康相談室・鳥取県医師会Q&A」に一般の方からの疾病に対する質問とその回答を掲載予定。

鳥取県医師会公開健康講座について、鳥取県の委託事業である「生活習慣病対策セミナー」は年16回で、7回を生活習慣病セミナーにあて、東中西の3地区においても3回ずつ同様のセミナーを実施予定。

各地区の健康教育活動、健康医療相談も継続実施。

地域保健対策は、鳥取県特有のがんリスク要因の究明を目的として、5つのがん（胃、肺、乳、肝、膵）を対象とした「鳥取県がん症例対象研究」は令和5年度で終了し、次の研究事業について検討中である。

(12) 生活習慣病対策専門委員会：谷口委員長説明
委員会を年1回開催予定である。

特定健康診査について、令和5年度の被用者保険組合および市町村国保組合における健診結果の分析および評価を行う。鳥取県の特定健診実施率は確実に上昇しているが、更なる受診率向上にむ

けて、とくに受診率の低い保険者や市町村に対して啓発を行う。具体的には、健診専用ウェブサイトの作成、新聞広告、啓発チラシ作成なども検討する。県としてはKDBデータを活用し、市町村ごとの特性や課題の抽出を行う。また継続して市町村保健事業について、課題抽出や人材育成の視点から支援していく。CKDおよび糖尿病性腎症対策は透析導入・循環器疾患予防のために重要な課題であり、鳥取県糖尿病性腎症重症化予防プログラムを進捗させる。

令和5年度の保健指導実施状況を把握し、その実績と課題についての評価を行う。鳥取県ではコロナ禍も鎮静し指導実施率が上昇しているが、以前から被扶養者の保健指導率は低い。ウェブや電話を活用したりリモート指導の工夫が必要と思われる。

保健指導従事者のスキル向上のため、人材育成研修会を年2回実施する。また、慢性腎臓病の効果的指導のできる人材育成のため研修会を年1回行う他、糖尿病療養指導士をもつ栄養士の市町村への派遣事業、とっとりデータ・ヘルスアップ事業として国保加入者向け生活指導アプリの導入を市町村と連携しつつ進めていく予定である。

心疾患ならびに脳血管疾患については、令和2年度に策定された鳥取県循環器病対策推進計画のロジックモデルにしたがい、計画具体案の進捗管理と啓発活動を行う。特に、脳卒中・心血管疾患対策として急性期の画像診断システムの導入（JOIN）、おしどりネットの活用などもすすめていく。

(13) 地域医療研修及び健康情報対策専門委員会：荒金委員長説明

委員会を1回開催予定。

鳥取県が鳥取大学医学部などに設けている地域枠等の学生が医療現場で勤務しており、これら奨学金の貸与を受けた医師を含め、県内に定着する医師のキャリア形成を支援し鳥取県内の地域医療の充実が図られるよう、研修・育成体制について引き続き意見交換を行う。

また、がん対策について、関係する各指標等のデータ分析やがん登録データとKDBデータの連結によるがん罹患原因分析など、がん死亡率減少に向けた施策に関して意見交換を行うとともに、生活習慣病対策を中心に健康情報に関する課題について情報共有していく。

地域医療の充実、特に地域医療を担う医師の育成について、本県の医療施設従事医師数は地域枠の成果もあり増加傾向にあったが、令和4(2022)年医師統計では1,700人と令和2(2020)年(1,702人)から減少する局面となった。また、国において医学部の臨時定員を削減する取組みが始まったことから、今後の地域枠のあり方について検討状況の報告及び意見交換を行う。

健康情報等の分析と今後の施策の進め方について、令和4年度数値が全国41位となった「がん75歳未満年齢調整死亡率」に関する詳細な検討を行いながら、令和2年度より取組を始めたがん登録データとKDBデータ連結による罹患原因分析やがん検診受診状況等について情報共有することで、がん死亡率減少に向けた効果的な施策の進め方について意見交換を行う。

その他、以下の質疑があった。

- ・肺がん検診等に関して、胸部エックス線の読影にAIの導入を検討しているか。また、肝臓がんに関してALTは30が基準となったが、ALTが30を基準とすると患者増加が見込まれ、消化器内科の先生の負担が増えると思うがどう考えるか。

→肺がんに関して、今後、保健事業団でAIの導入は検討しているところであるが、コストが大きい点が課題である。また保健事業団で導入した後に、検診へ導入できるか検討す

る必要もある。AIの導入は先進的であるが、全国的には珍しく、現在、中四国では行っているところはない。今後夏部会等で検討していく。

→肝臓がんに関して、令和5年度に日本肝臓学会で奈良宣言があり、ALTが30を超えたらかかりつけ医に行きましようとなった。また非アルコール性の脂肪肝の名称が「MASLD」に変わり、患者の増加が予想される。しかし、まずかかりつけ医に受診ということのため、一気に患者数の増加はないと考える。かかりつけ医に受診後に、次の段階としてFIB4インデックス等でさらに絞り込むため、消化器内科の先生の負担が大きく増えるわけではないと考えるが、かかりつけ医での絞り込みをどの程度行うかを今後検討していかないといけない。

7. 令和6年度予算(案)について

廣瀬主事より説明があり、承認された(別記18、19)。

健対協予算は前年度と同様に県支出金、鳥取県保健事業団支出金、市町村等委託金、その他委託金、県医師会補助金、繰越金を含む諸収入である。令和6年度予算総額は78,774千円で、前年度より1,263千円増額予算である。

令和6年度事業計画(案)及び予算(案)について、一括承認した。

8. その他

健対協の運営体制等について検討する場として、鳥取大学医学部環境予防医学分野の尾崎米厚教授を委員長とした「健対協あり方検討委員会」を、令和6年度から設置することが提案され承認された。

令和6年度鳥取県健康対策協議会役員名簿

(任期 令和6年4月1日～令和8年3月31日)

(敬称略／順不同)

会 長	清水 正人 (県 医 師 会 会 長) ^{※1}	理 事	山崎 大輔 (県 医 師 会 理 事) ^{※1}
副会長	景山 誠二 (鳥取大学医学部長)	〃	福島 寛子 (〃) ^{※1}
〃	中西 眞治 (県 福 祉 保 健 部 長)	〃	野口圭太郎 (〃) ^{※1}
理 事	広瀬 龍一 (県病院局病院事業管理者)	〃	武中 篤 (鳥取大学医学部附属病院長)
〃	中西 朱実 (県 子 ど も 家 庭 部 長)	〃	谷口 晋一 (鳥取大学医学部教授)
〃	荒金 美斗 (県 健 康 医 療 局 長)	〃	尾崎 米厚 (〃)
〃	角田 智玲 (県健康医療局健康政策課長)	〃	山本 一博 (〃)
〃	福井 恒 (県健康医療局医療政策課長)	〃	永島 英樹 (〃) ^{※4}
〃	米田 裕一 (県健康医療局医療・保険課長)	〃	磯本 一 (〃)
〃	川本かづ代 (県健康医療局健康政策課 がん・生活習慣病対策室長)	〃	難波 範行 (〃)
〃	廣岡 保明 (県 立 中 央 病 院 長) ^{※3}	〃	谷口 文紀 (〃)
〃	藤井 秀樹 (県 保 健 所 長 会 長)	〃	山田 七子 (鳥取大学医学部附属病院教授) ^{※1、3}
〃	石谷 暢男 (東 部 医 師 会 会 長)	〃	小谷 昌広 (鳥取大学医学部附属病院 がんセンター長)
〃	安梅 正則 (中 部 医 師 会 会 長)	〃	鈴木 喜雅 (鈴木クリニック院長)
〃	藤瀬 雅史 (西 部 医 師 会 会 長) ^{※2}	〃	皆川 幸久 (鳥取県保健事業団 総合保健センター所長)
〃	瀬川 謙一 (県 医 師 会 副 会 長)	〃	中村 廣繁 (鳥取県保健事業団 西部健康管理センター)
〃	辻田 哲朗 (〃)	〃	孝田 雅彦 (日 野 病 院 長)
〃	岡田 克夫 (県 医 師 会 常 任 理 事)	〃	濱本 哲郎 (博愛病院院長特別補佐)
〃	三上 真顯 (〃)	〃	吉田 泰之 (県立中央病院副院長)
〃	秋藤 洋一 (〃)	〃	山口 由美 (鳥取赤十字病院部長)
〃	松田 隆 (〃)	監 事	尾崎 眞人 (県 医 師 会 監 事) ^{※1}
〃	池田 光之 (〃) ^{※1}	〃	服岡 泰司 (〃) ^{※1}
〃	來間 美帆 (県 医 師 会 理 事)		

※1 令和6年6月15日付けで就任

※2 令和6年6月17日付けで就任

※3 県医師会理事

※4 県医師会常任理事

別 記 (1)

令和5年度鳥取県健康対策協議会事業報告

() の数字は令和5年度決算額

(単位：円)

1. がん登録対策専門委員会【委員長：尾崎米厚（鳥大医社会医学講座環境予防医学教授）】

事業内容	摘要
1. 令和2年（2020年）がん罹患・受療状況標準集計 2. 補充届出票による遡り調査、各種検診発見がんからの登録 3. 「全国がん登録データベースシステム」運用・オンライン届出の研修会（資料の配付）及び利活用 (6,880,434)	1. 日本がん登録全国協議会第32回学術集会参加（青森県開催）

2. 胃がん対策専門委員会【委員長：謝花典子（山陰労災病院消化器内科顧問）】

事業内容	摘要
1. 集団検診実施状況の評価、検討 2. 胃がん検診フィルムの読影と胃がん検診発見胃がん患者の確定調査 3. 胃がん検診精密検査医療機関登録 4. 胃がん一次検診における内視鏡検査の精度管理 5. 車検診におけるデジタル化に伴う読影 6. 胃がん対策としてのピロリ菌検査・ペプシノゲン検査の検討 (3,858,760)	1. 各地区読影委員会設置 2. 従事者講習会及び症例研究会（西部） 3. 第54回日本消化器がん検診学会中国四国地方会参加（徳島県 徳島市）

3. 子宮がん対策専門委員会【委員長：皆川幸久（鳥取県保健事業団総合保健センター所長）】

事業内容	摘要
1. 集団（車検診）検診実施状況の評価、検討 2. 検診発見がん患者の確定調査 3. 改訂後の精密検査紹介状及び確定調査結果報告様式の運用状況評価 4. 若年者の受診率向上対策 5. 県下統一の合理的な細胞診・HPV併用検診の導入に向けた検討 (822,109)	1. 従事者講習会及び症例検討会（西部） 2. 子宮がん検診細胞診委員会設置

4. 肺がん対策専門委員会【委員長：杉本勇二（鳥取県立中央病院副院長）】

事業内容	摘要
1. 集団検診実施状況の評価、検討 2. 精密検査による肺がん確定診断の調査 3. 肺がん検診精密検査医療機関登録 4. 肺がん医療機関検診実施 5. デジタル化に伴う読影 6. 肺がん検診細胞診検査の精度管理向上対策 (16,939,307)	1. 従事者講習会及び症例研究会（中部） 2. 肺がん検診読影委員会及び細胞診委員会設置 3. 肺がん個別検診読影委員会設置

5. 乳がん対策専門委員会【委員長：山口由美（鳥取赤十字病院第二外科部長）】

事業内容	摘要
1. 集団検診実施状況の評価、検討 2. 乳がん検診一次検査（乳房エックス線撮影）医療機関登録 3. 乳がん検診精密検査医療機関登録 4. 検診発見乳がん患者の確定調査及びマンモグラフィ単独検診の検証 5. 乳がん検診受診票・精検報告書の運用 6. マンモグラフィ読影医師資格更新費用助成 (14,399,895)	1. 従事者講習会及び症例検討会（中部） 2. 各地区症例検討会 3. 鳥取県乳がん検診マンモグラフィ読影委員会設置

6. 大腸がん対策専門委員会【委員長：濱本哲郎（博愛病院院長特別補佐）】

事業内容	摘要
1. 集団検診実施状況の評価、検討 2. 検診発見大腸がん患者の確定調査 3. 大腸がん検診精密検査医療機関登録 (262,890)	1. 従事者講習会及び症例研究会（東部） 2. 大腸がん注腸読影委員会設置 3. 大腸がん検診読影講習会 4. 大腸がん注腸読影指導会

7. 肝臓がん対策専門委員会【委員長：孝田雅彦（日野病院長）】

事業内容	摘要
1. 集団検診実施状況の評価、検討 2. 肝臓がん検診精密検査医療機関登録 3. 検診発見肝臓がん患者の確定調査 (301,368)	1. 従事者講習会及び症例研究会（西部）

8. 若年者心臓検診対策専門委員会【委員長：吉田泰之（鳥取県立中央病院副院長）】

事業内容	摘要
1. 乳幼児・児童生徒の心臓疾患対策 2. 心電図判読 (4,050,103)	1. 各地区判読委員会設置 2. 心臓検診従事者講習会（中部） 3. 若年者心疾患・生活習慣病対策協議会 総会（三重県津市）

9. 母子保健対策専門委員会【委員長：難波範行（鳥大医統合内科医学講座周産期・小児医学分野教授）】

事業内容	摘要
1. 母子保健事業の評価 2. 新生児マス・スクリーニングについて 3. 乳幼児健康診査について 4. 母子保健に係る「切れ目のない支援体制」・「鳥取県産後健康診査事業」（令和元年度（平成31年度）より開始） (196,167)	1. 母子保健対策小委員会開催

10. 疾病構造の地域特性対策専門委員会【委員長：瀬川謙一（県医師会常任理事）】

事業内容	摘要
1. 特定健康診査・後期高齢者健診からの非ウイルス性肝疾患拾い上げ研究等（5項目） 2. 母子保健調査研究 (2,803,983)	1. 「疾病構造の地域特性対策専門委員会報告（第37集）」発行

11. 公衆衛生活動対策専門委員会【委員長：岡田克夫（県医師会常任理事）】

事業内容	摘要
1. 健康教育対策 2. 地域保健対策 3. 生活習慣病対策 (1,426,509)	1. 生活習慣病対策セミナー 2. がん症例対照研究

12. 生活習慣病対策専門委員会【委員長：谷口晋一（鳥大医地域医療学講座教授）】

事業内容	摘要
1. 特定健診・特定保健指導実施状況の評価、検討 2. 慢性腎臓病対策事業の検討 (698,952)	1. 循環器病対策推進に関する小委員会（脳・心血管疾患）開催（2回；Web開催） 2. 循環器病に関する一般向け講演会、多職種連携従事者研修会開催（2回；Web開催）

13. 地域医療研修及び健康情報対策専門委員会【委員長：坂本裕子（鳥取県福祉保健部健康医療局長）】

事業内容	摘要
1. 地域医療の充実についての検討 2. 健康情報等の解析状況と今後の施策についての検討 (45,813)	

令和5年度総合部会記録

部会長 渡 辺 憲

令和5年度の生活習慣病検診等管理指導協議会総合部会を令和5年9月28日、令和6年3月7日の2回開催した。

この会において、各部会長、専門委員長が出席し、特定健診、がん検診、がん登録事業等について、鳥取県健康政策課の資料説明にもとづき、各部会を横断的に、課題について討議を行った。

- 1) 新型コロナウイルス感染症流行等により減少した受診者数は、令和3年度は増加に転じたが、令和4年度の受診者数、受診率はいずれの部位も減少した。年齢階級別では、男性より女性の方が受診者数が多く、70歳以上の受診者数が高い。
- 2) 令和4年度の特定健診について、前年度や新型コロナウイルス感染症流行以前の令和元年度と比較しても、健診受診率、特定保健指導の実施率は増加しており、過去5年間で最高値であった。
- 3) 鳥取県がん対策推進計画の第4次計画を策定している。改訂のポイントとしては、がんの75歳未満年齢調整死亡率は、2年連続で、現行計画の目標(70.0)を達成して改善傾向であるため、次期計画では、さらに高い目標を掲げ、

全国上位を目指す。(R4死亡率は73.7で、R3の68.1より増加したが、増減を繰り返しながら、着実に減少してきている。)

- 4) 国立がん研究センターが令和4年の75歳未満がん年齢調整死亡率を公表した。鳥取県の男女計の死亡率は、73.7(前年68.1)で41位(前年28位)であった。鳥取県は母数となる人口が少なく死亡率の変化が大きくなる傾向があるので、今後も推移を注視していく。
- 5) 新たなプロセス指標の基準値等が示されたことを踏まえ、上限69歳、上限74歳など、いずれの指標を用いるか検討するため、令和3年度と令和4年度の県集計の要精検率、精検受診率、がん発見率、陽性反応的中度を算定し検討した。
- 6) 各がん検診従事者講習会は、令和5年度は参集で開催した。令和6年度は、令和6年7月28日に開催予定の鳥取県医学会と大腸がんを合同開催する。消化器系など参加者が重複する部位の従事者講習会の同日開催や、冬だけではなく他の季節に時期をずらして開催する等、各部会の先生方と相談しながら開催方法について、引き続き検討していく。

(参 考)

令和4年度実績、令和5年度実績（中間）、令和6年度計画について

(単位：人　％)

区　　分		国指標	令和4年度実績	令和5年度実績見込	令和6年度計画
胃 が ん 検 診	対　象　者　数（人）		181,414	181,414	181,414
	受診者	X線検査（人・率）	7,579（4.2）	8,481（4.7）	8,561（4.7）
		内視鏡検査（人・率）	39,920（22.0）	42,114（23.2）	42,812（23.6）
		合　　計（人・率）	目標値50％達成 47,499（26.2）	50,595（27.9）	51,373（28.3）
	X線検査	要精検者数（人）	502		
		要精検率（％）	許容値11.0％以下 6.6		
		精密検査受診者数（人）	422		
		精検受診率（％）	許容値70％以上 目標値90％以上 84.1		
	診	検診発見がんの者（がんの疑い）	161（48）		
		検診発見がん率（％）	許容値0.11％以上 0.34		
		陽性反応適中度（X線検査）	許容値1.0％以上 3.39		
		確定調査結果（確定癌数・率）	165（0.35）		
子 宮 頸 部 が ん 検 診	対　象　者　数（人）		121,933	121,933	121,933
	受　診　者　数（人）		30,310	32,723	33,292
	受　診　率（％）	目標値50％達成	24.9	26.8	27.3
	要精検者数（人）		351		
	判定不能者数（人）		23		
	要精検率（％）	許容値1.4％以下	1.16		
	精検受診者数（人）		284		
	精検受診率（％）	許容値70％以上 目標値90％以上	80.9		
	診	検診発見がんの者（がんの疑い）	6（90）		
		検診発見がん率（％）	許容値0.05％以上 0.02		
		陽性反応適中度	許容値4.0％以上 1.7		
		確定調査結果（確定癌数・率）	6（0.02）		
肺 が ん 検 診	対　象　者　数（人）		181,414	181,414	181,414
	受　診　者　数（人）		53,277	56,945	58,066
	受　診　率（％）	目標値50％達成	29.4	31.4	32.0
	要精検者数（人）		1,801		
	要精検率（％）	許容値3.0％以下	3.38		
	精検受診者数（人）		1,584		
	精検受診率（％）	許容値70％以上 目標値90％以上	88.0		
	診	検診発見がんの者（がんの疑い）	37（75）		
		検診発見がん率（％）	許容値0.03％以上 0.07		
		陽性反応適中度	許容値1.3％以上 2.1		
		確定調査結果（確定癌数・率）	50		
	上記のうち原発性肺がん数・率		48（0.09）		

区 分		国指標	令和4年度実績	令和5年度実績見込	令和6年度計画
乳がん検診	対象者数(人)		109,121	109,121	109,121
	受診者数(人)		16,933	19,015	19,570
	受診率(%)	目標値50%達成	15.5	17.4	17.9
	要精検者数(人)		1,014		
	要精検率(%)	許容値11.0%以下	5.99		
	精検受診者数(人)		966		
	精検受診率(%)	許容値80%以上 目標値90%以上	95.3		
	検診発見がんの者(がんの疑い)		71 (3)		
	検診発見がん率(%)	許容値0.23%以上	0.42		
	陽性反応適中度	許容値2.5%以上	7.00		
	確定調査結果(確定癌数・率)		72 (0.43)		
大腸がん検診	対象者数(人)		181,414	181,414	181,414
	受診者数(人)		52,647	54,346	55,463
	受診率(%)	目標値50%達成	29.0	30.0	30.6
	要精検者数(人)		3,743		
	要精検率(%)	許容値7.0%以下	7.1		
	精検受診者数(人)		2,831		
	精検受診率(%)	許容値70%以上 目標値90%以上	75.6		
	検診発見がんの者(がんの疑い)		118 (11)		
	検診発見がん率(%)	許容値0.13%以上	0.22		
	陽性反応適中度	許容値1.9%以上	3.15		
	確定調査結果(確定癌数・率)		121 (0.23)		

※検診発見がんの者(率)：精密検査の結果、がんとして診断された者です。

() 内の数値は「がん疑いの者」の数を外数で計上。

※確定癌数(率)：精密検査の結果、がん及びがん疑いと診断された者について、鳥取県健康対策協議会が確定調査を行い、最終的に確定癌とされた者です。

(1) 令和4年度健康増進事業における肝炎ウイルス検査

区 分	対象者数	受診者数	受診率	HBs 陽性者	HCV 陽性者	HBs 陽性率	HCV 陽性率
肝炎ウイルス検査	210,599	3,999	1.9%	32	11	0.8%	0.3%

(精密検査)

区 分	要精検者数	精検受診者数	精検受診率	肝臓がん	肝臓がん疑い	がん発見率
肝炎ウイルス検査	43	24	55.8	0	0	0.00%

令和5年度実績見込み5,387人、令和6年度計画5,477人

(2) 肝臓がん検診により発見されたウイルス陽性者に対するの定期検査状況

(単位：人 %)

区 分	健康指導 対象者	定期検査 受診者数	定期検査結果			
			慢性肝炎	肝硬変	肝臓がん	がん疑い
B型肝炎ウイルス陽性者	2,534	900	147 (16.3)	12 (1.3)	4 (0.4)	4 (0.4)
C型肝炎ウイルス陽性者	770	285	32 (11.2)	3 (1.1)	9 (3.2)	0 (0.0)

別 記 (3)

令和5年度鳥取県健康対策協議会決算書

〈収入の部〉

(単位：円)

款 項 目	予算額	補正額	予算現額	収入済額	増△減	摘 要
1. 県 支 出 金	24,133,000	△2,093,150	22,039,850	22,039,850	0	
1) 委 託 金	20,456,000	△1,821,923	18,634,077	18,634,077	0	
(1) がん登録及び解析 評価事業費委託金	7,242,000	△362,083	6,879,917	6,879,917	0	委託金6,254,470円 + 消費税625,447円
(2) 県民健康対策調査 研究事業費委託金	2,973,000	△169,017	2,803,983	2,803,983	0	委託金2,549,075円 + 消費税254,908円
(3) 健康診査管理支援 事業費委託金	3,117,000	△426,908	2,690,092	2,690,092	0	委託金2,445,538円 + 消費税244,554円
(4) 生活習慣病予防セミナー 開催事業費委託金	1,450,000	△111,246	1,338,754	1,338,754	0	委託金1,217,049円 + 消費税121,705円
(5) がん検診精度確保 事業費委託金	3,704,000	△284,652	3,419,348	3,419,348	0	委託金3,108,498円 + 消費税310,850円
(6) 肝臓がん検診従事者 講習会開催等事業費委託金	293,000	△82,590	210,410	210,410	0	委託金191,282円 + 消費税19,128円
(7) 肺がん医療機関検診読影 委員会開催事業費委託金	603,000	△60,395	542,605	542,605	0	委託金493,277円 + 消費税49,328円
(8) 母子保健推進体制 整備事業費委託金	494,000	△297,833	196,167	196,167	0	委託金178,334円 + 消費税17,833円
(9) 循環器病に関する研修会 及び普及啓発等事業	580,000	△27,199	552,801	552,801	0	委託金502,546円 + 消費税50,255円
2) 県 負 担 金	3,677,000	△271,227	3,405,773	3,405,773	0	
(1) 事務局強化対策 負担	3,677,000	△271,227	3,405,773	3,405,773	0	
2. 鳥取県保健事業団支出金	23,934,000	△6,183,568	17,750,432	17,750,432	0	
1) 委 託 金	23,534,000	△6,183,568	17,350,432	17,350,432	0	
(1) 胃 集 検 読 影 事業費委託金	4,400,000	△ 859,320	3,540,680	3,540,680	0	@440×8,047件 (消費税等込み)
(2) 子 宮 が ん 検 診 事業費委託金	1,009,000	△624,550	384,450	384,450	0	細胞診1次直接塗抹法 @440×9件=3,960円 細胞診1次LBC法 @330×367件=121,110円 最終判定 @990×262件=259,380円 (消費税等込み)
(3) 肺 が ん 検 診 事業費委託金	4,485,000	△687,998	3,797,002	3,797,002	0	フィルム読影料 @121×31,372件=3,796,012円 細胞診1次 @440×0件=0円 最終判定 @990×1件=990円 (消費税等込み)
(4) 乳 が ん 検 診 事業費委託金	9,240,000	△3,290,980	5,949,020	5,949,020	0	マンモグラフィ読影料 @770×7,726件 (消費税等込み)
(5) 若 年 者 心 臓 検 診 事業費委託金	4,400,000	△720,720	3,679,280	3,679,280	0	@220×16,724件=3,679,280円 (消費税等込み)
2) 補 助 金	400,000	0	400,000	400,000	0	
(1) 各専門委員会連絡 調整補助金	400,000	0	400,000	400,000	0	

款 項 目	予算額	補正額	予算現額	収入済額	増△減	摘 要
3. 市町村等支出金	23,100,000	66,220	23,166,220	23,166,220	0	
1) 市町村委託金	23,100,000	66,220	23,166,220	23,166,220	0	
(1) 肺がん医療機関検診 事業費委託金	15,400,000	172,480	15,572,480	15,572,480	0	@440×35,392件=15,572,480円 (消費税等込み)
(2) 乳がん検診 事業費委託金	7,700,000	△106,260	7,593,740	7,593,740	0	@770×9,862件=7,593,740円 (消費税等込み)
4. その他委託金	726,000	32,824	758,824	758,824	0	
1) 委 託 金	726,000	32,824	758,824	758,824	0	いなば財団 @220×1,964件=432,080円 (消費税等込み)
(1) 若年者心臓検診 事業費委託金	297,000	189,640	486,640	486,640	0	岩美病院 @220×248件=54,560円 (消費税等込み)
(2) 胃集検読影 事業費委託金	220,000	△134,200	85,800	85,800	0	中国労働衛生協会 @440×195件=85,800円 (消費税等込み)
(3) 肺がん検診 事業費委託金	132,000	△10,296	121,704	121,704	0	中国労働衛生協会 @132×922件=121,704円 (消費税等込み)
(4) 乳がん検診 事業費委託金	77,000	△12,320	64,680	64,680	0	中国労働衛生協会 @770×84件=64,680円 (消費税等込み)
5. 県医師会補助金	1,300,000	0	1,300,000	1,300,000	0	
1) 県医師会補助金	1,300,000	0	1,300,000	1,300,000	0	
(1) 運営費補助金	1,300,000	0	1,300,000	1,300,000	0	
6. 寄 付 金	1,000	0	1,000	0	△1,000	
1) 寄 付 金	1,000	0	1,000	0	△1,000	
(1) 寄 付 金	1,000	0	1,000	0	△1,000	
7. 諸 収 入	44,000	0	44,000	43,409	△591	
1) 預 金 利 子	1,000	0	1,000	143	△857	
(1) 預 金 利 子	1,000	0	1,000	143	△857	
2) 労働者保険料 被保険者負担分収入	43,000	0	43,000	43,266	266	労働保険料事業主立替分収入
(1) 労働者保険料 被保険者負担分収入	43,000	0	43,000	43,266	266	
8. 繰 越 金	4,273,000	0	4,273,000	4,273,212	212	
1) 前年度繰越金	4,273,000	0	4,273,000	4,273,212	212	
(1) 前年度繰越金	4,273,000	0	4,273,000	4,273,212	212	
収 入 合 計	77,511,000	△8,177,674	69,333,326	69,331,947	△1,379	

〈支出の部〉

(単位：円)

款 項 目	予 算 現 額				支出済額	不用額	摘 要
	予算額	補正額	流用増減	計			
1. 総 務 費	6,478,000	△254,411	0	6,223,589	5,653,636	569,953	
1) 会 議 費	788,000	67,911	0	855,911	631,711	224,200	
(1) 理 事 会 費	788,000	67,911	0	855,911	631,711	224,200	
2) 各 専 門 委 員 会 連 絡 調 整 費	1,488,000	△322,322	0	1,165,678	823,505	342,173	
(1) 各 専 門 委 員 会 連 絡 調 整 費	1,488,000	△322,322	0	1,165,678	823,505	342,173	
3) 給 料	2,316,000	0	0	2,316,000	2,316,000	0	
(1) 給 料	2,316,000	0	0	2,316,000	2,316,000	0	
4) 納税申告作成費	316,000		0	316,000	312,620	3,380	
(1) 消費税申告作成費	78,000	0	0	78,000	77,110	890	
(2) 会計・給料システム レ シ ョ ナ ル 料	238,000	0	0	238,000	235,510	2,490	
5) 公 租 公 課 費	1,570,000	0	0	1,570,000	1,569,800	200	
(1) 公 租 公 課 費	1,570,000	0	0	1,570,000	1,569,800	200	健康対策費のうち以下の項目で公租公課費1,760,900円支出 ※ 胃がん対策費 13,008円 子宮がん対策費 20,971円 肺がん対策費 864,236円 乳がん対策費 862,685円 計1,760,900円 合計 3,330,700円
2. 健 康 対 策 費	71,033,000	△7,923,263	0	63,109,737	55,817,509	7,292,228	
1) が ん 登 録 費	7,786,000	△362,083	0	7,423,917	6,880,434	543,483	
(1) が ん 登 録 費	7,786,000	△362,083	0	7,423,917	6,880,434	543,483	
2) 胃 が ん 対 策 費	5,065,000	△776,683	0	4,288,317	3,858,760	429,557	
(1) 胃 が ん 対 策 費	5,065,000	△776,683	0	4,288,317	3,858,760	429,557	※公租公課費 13,008円
3) 子 宮 が ん 対 策 費	1,438,000	△519,192	0	918,808	822,109	96,699	
(1) 子 宮 が ん 対 策 費	1,438,000	△519,192	0	918,808	822,109	96,699	※公租公課費 20,971円
4) 肺 が ん 対 策 費	20,981,000	△318,421	0	20,662,579	16,939,307	3,723,272	
(1) 肺 が ん 対 策 費	20,378,000	△258,026	0	20,119,974	16,396,702	3,723,272	※公租公課費 864,236円
(2) 肺がん医療機関検診 読影委員会対策費	603,000	△60,395	0	542,605	542,605	0	
5) 乳 が ん 対 策 費	18,779,000	△3,794,790	0	14,984,210	14,399,895	584,315	
(1) 乳 が ん 対 策 費	17,979,000	△3,296,703	0	14,682,297	14,097,982	584,315	※公租公課費 862,685円
(2) マンモグラフィ読影 医師資格更新助成費	800,000	△498,087	0	301,913	301,913	0	
6) 大 腸 が ん 対 策 費	570,000	2,340	0	572,340	262,890	309,450	
(1) 大 腸 が ん 対 策 費	570,000	2,340	0	572,340	262,890	309,450	

款 項 目	予 算 現 額				支出済額	不用額	摘 要
	予算額	補正額	流用増減	計			
7) 肝臓がん対策費	585,000	△82,590	0	502,410	301,368	201,042	
(1) 肝臓がん対策費	585,000	△82,590	0	502,410	301,368	201,042	
8) がん検診精度確保対策費	3,004,000	213,435	0	3,217,435	3,131,219	86,216	
(1) がん検診精度確保対策費	3,004,000	213,435	0	3,217,435	3,131,219	86,216	
9) 若年者心臓検診対策費	4,927,000	△524,414	0	4,402,586	4,050,103	352,483	
(1) 若年者心臓検診対策費	4,927,000	△524,414	0	4,402,586	4,050,103	352,483	
10) 母子保健対策費	679,000	△297,833	0	381,167	196,167	185,000	
(1) 母子保健対策協議会対策費	679,000	△297,833	0	381,167	196,167	185,000	
11) 県民健康対策費	3,011,000	△169,017	0	2,841,983	2,803,983	38,000	
(1) 疾病構造調査等研究費	3,011,000	△169,017	0	2,841,983	2,803,983	38,000	
12) 公衆衛生活動費	2,139,000	△111,246	0	2,027,754	1,426,509	601,245	
(1) 地域保健対策費	493,000	0	0	493,000	199,672	293,328	
(2) 健康教育対策費	450,000	△3,536	0	446,464	446,464	0	
(3) 公開健康講座対策費	242,000	0	0	242,000	198,262	43,738	
(4) 生活習慣病対策セミナー対策費	954,000	△107,710	0	846,290	582,111	264,179	
13) 生活習慣病対策費	1,930,000	△1,182,769	0	747,231	698,952	48,279	
(1) 生活習慣病対策費	1,930,000	△1,182,769	0	747,231	698,952	48,279	
14) 地域医療研修及び健康情報対策費	139,000	0	0	139,000	45,813	93,187	
(1) 地域医療研修及び健康情報対策費	139,000	0	0	139,000	45,813	93,187	
支 出 合 計	77,511,000	△8,177,674	0	69,333,326	61,471,145	7,862,181	

収入済額 69,331,947円

支出済額 61,471,145円

差引残額 7,860,802円

処分案 { 3,860,802円 (令和6年度へ繰越)
4,000,000円 (特別事業会計へ繰入)

別 記 (4)

令和5年度鳥取県健康対策協議会予算決算対照表

(単位：円)

事業名	支出予算額 支出決算額	内 訳					
		県支出金	事業団支出金	市町村等支出金	その他委託金	医師会補助金	利息その他
1. がん登録対策	7,423,917 6,880,434	6,879,917 6,879,917				24,000 517	520,000 0
2. 胃がん対策	4,288,317 3,858,760	478,837 478,837	3,540,680 3,294,123		85,800 85,800		183,000 0
3. 子宮がん対策	918,808 822,109	375,358 375,358	384,450 384,450			80,000 62,301	79,000 0
4. 肺がん対策	20,662,579 16,939,307	1,070,393 1,070,393	3,797,002 3,407,002	15,572,480 12,340,208	121,704 121,704		101,000 0
5. 乳がん対策	14,984,210 14,399,895	674,770 674,770	5,949,020 5,949,020	7,593,740 7,593,740	64,680 64,680		702,000 117,685
6. 大腸がん対策	572,340 262,890	262,340 262,340				130,000 550	180,000 0
7. 肝臓がん対策	502,410 301,368	210,410 210,410				110,000 50,000	182,000 40,958
8. がん検診精度 確保対策	3,217,435 3,131,219	3,117,435 3,117,435				45,000 13,784	55,000 0
9. 若年者心臓検診 対策	4,402,586 4,050,103	206,666 206,666	3,679,280 3,556,797		486,640 286,640		30,000 0
10. 母子保健対策	381,167 196,167	196,167 196,167					185,000 0
11. 県民健康対策	2,841,983 2,803,983	2,803,983 2,803,983					38,000 0
12. 公衆衛生活動 対策	2,027,754 1,426,509	1,338,754 1,338,754	400,000 87,755			195,000 0	94,000 0
13. 生活習慣病対策	747,231 698,952	697,231 697,231				20,000 1,721	30,000 0
14. 地域医療研修及び 健康情報対策	139,000 45,813					130,000 45,813	9,000 0
15. 総 務 費	6,223,589 5,653,636	3,727,589 3,727,589				566,000 566,000	1,930,000 1,360,047
合 計	69,333,326 61,471,145	22,039,850 22,039,850	17,750,432 16,679,147	23,166,220 19,933,948	758,824 558,824	1,300,000 740,686	4,318,000 1,518,690

別 記 (5)

表 彰 基 金

(令和6年3月31日現在)

1. 基金運用収支

(単位:円)

科 目	年度初現在高	増	減	年度末現在高	摘 要
1. 収 入 前年度繰越金 普通預金利息	169,894	0		169,894	
2. 支 出			0	0	
計	169,894	0	0	169,894	

別 記 (6)

鳥取県健康対策協議会特別事業・決算

(令和6年3月31日現在)

1. 定期預金

(単位:円)

科 目	年度初現在高	増	減	残 額	摘 要
1. 定期預金積立	4,046,361				鳥取銀行本店
2. 定期預金解約利息		6			05.05.22解約して普通預金へ繰り入れ
3. 定期預金解約			4,046,367		
計	4,046,361	6	4,046,367	0	

2. 普通預金収支

(単位:円)

科 目	年度初現在高	増	減	残 額	摘 要
1. 収 入 前年度繰越金 定期預金解約 雑 入	1,302,218	4,046,367 10		5,348,595	普通預金利息
2. 支 出 機 器 購 入 振 込 手 数 料			4,323,000 550	1,025,045	肺がん検診X線画像読影機器一式
計	1,302,218	4,046,377	4,323,550	1,025,045	

別 記 (7)

(写)

監 査 報 告 書

鳥取県健康対策協議会規約第6条8項の規程により、令和5年度鳥取県健康対策協議会事業報告・収入支出予算の執行について関係諸帳簿等を監査した結果適正であることを認めます。

令和6年6月15日

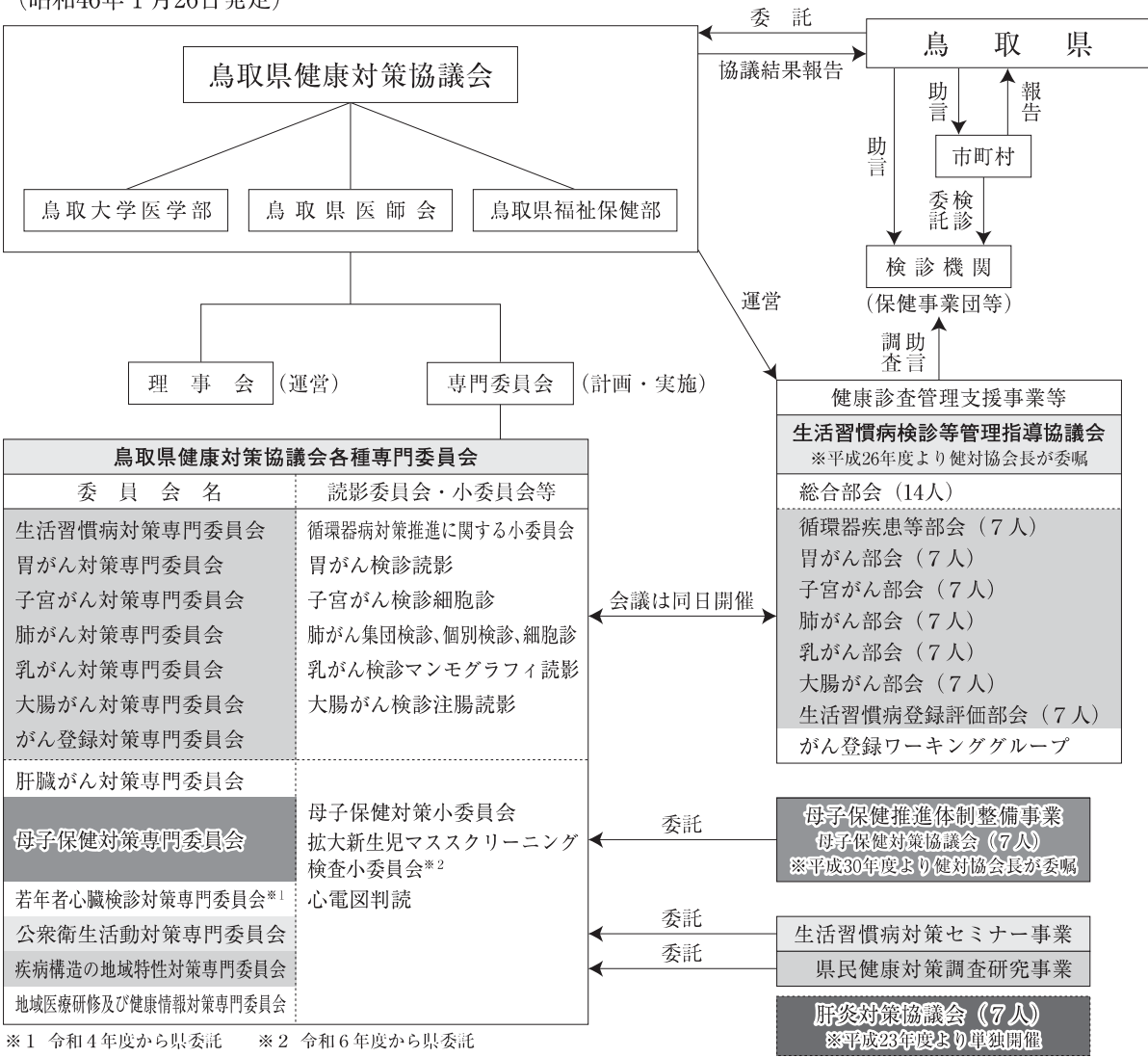
監 事 山 崎 大 輔 印
監 事 宮 崎 聡 印

鳥取県健康対策協議会
会 長 渡 辺 憲 殿

別 記 (8)

鳥取県健康対策協議会と生活習慣病検診等管理指導協議会組織図

(昭和46年1月26日発足)



別 記 (9)

令和6年度鳥取県健康対策協議会専門委員会委員名簿

(任期：令和6年4月1日～令和8年3月31日)

※1 令和6年6月15日就任

※2 令和6年6月17日就任

1. がん登録対策専門委員会【委員長：尾崎米厚（鳥取大学医学部社会医学講座環境予防医学分野教授）】

医 師 会	県	鳥取大学医学部・附属病院
岡田 克夫（県医師会常任理事）	川本かつ代（県健康政策課がん・生活習慣病対策室長）	武中 篤（附属病院院長）
秋藤 洋一（県医師会常任理事）	廣岡 保明（県立中央病院院長）	磯本 一（統合内科医学講座消化器・腎臓内科学分野教授）
大石 正博（鳥取市立病院院長）	花木 啓一（県立厚生病院院長）	
杉谷 篤（博愛病院部長）	小倉加恵子（倉吉保健所長）	
廣瀬 奎介（県医師会事務局）		
齊藤 博昭（東部医師会）		
野田 博司（中部医師会）		
大山 賢治（西部医師会）※2		

2. 胃がん対策専門委員会【委員長：岡田克夫（鳥取県医師会常任理事）】

医 師 会	県	鳥取大学医学部・附属病院
瀬川 謙一（県医師会副会長）	川本かつ代（県健康政策課がん・生活習慣病対策室長）	磯本 一（統合内科医学講座消化器・腎臓内科学分野教授）
秋藤 洋一（県医師会常任理事）	田中 究（県立中央病院部長）	藤原 義之（器官制御外科学講座消化器・小児外科学分野教授）
齊藤 博昭（鳥取赤十字病院副院長）	野口 直哉（県立厚生病院部長）	八島 一夫（統合内科医学講座消化器・腎臓内科学分野准教授）
尾崎 真人（東部医師会）	吉田 慧（中部総合事務所倉吉保健所医 薬・感染症対策課課長補佐）	
門脇 義郎（中部医師会）		
小酒 慶一（西部医師会）※2		

市町村保健師代表者：福田 香織（三朝町役場企画健康課主査）

鳥取県保健事業団：三宅 二郎（健診事業部次長）

3. 子宮がん対策専門委員会【委員長：皆川幸久（鳥取県保健事業団総合保健センター所長）】

医 師 会	県	鳥取大学医学部・附属病院
岡田 克夫（県医師会常任理事）	川本かつ代（県健康政策課がん・生活習慣病対策室長）	谷口 文紀（器官制御外科学講座産科婦人科学分野教授）
村江 正始（鳥取県産婦人科医会長）	高橋 弘幸（県立中央病院部長）	佐藤 慎也（附属病院女性診療科群講師）
明島 亮二（中部医師会）	周防 加奈（県立厚生病院部長）	
脇田 邦夫（西部医師会）	長井 大（鳥取市保健所長）	

市町村保健師代表者：前田 知子（南部町役場健康福祉課主幹保健師）

鳥取県保健事業団：藤井 和晃（健診事業部長）

4. 肺がん対策専門委員会【委員長：小谷昌広（鳥取大学医学部附属病院がんセンター長）】

医 師 会	県	鳥取大学医学部・附属病院
岡田 克夫（県医師会常任理事）	角田 智玲（県健康医療局健康政策課長）	春木 朋広（附属病院胸部外科診療科群准教授）
三上 真顯（県医師会常任理事）	杉本 勇二（県立中央病院副院長）	山口 耕介（統合内科医学講座呼吸器・膠原病内科学分野講師）
中村 廣繁（保健事業団西部健康管理センター）	徳安 祐輔（県立中央病院部長）	
池田 光之（東部医師会）	前田 啓之（県立中央病院部長）	
岡田耕一郎（中部医師会）	高木 雄三（県立厚生病院部長）	
服岡 泰司（西部医師会）	西尾 靖子（鳥取市保健所健康づくり推進課長）	

市町村保健師代表者：横山 有里（岩美町役場健康福祉課保健師）
鳥取県保健事業団：津村 望（西部健康管理センター健診課課長補佐）

5. 乳がん対策専門委員会【委員長：山口由美（鳥取赤十字病院第二外科部長）】

医 師 会	県	鳥取大学医学部・附属病院
岡田 克夫（県医師会常任理事）	川本かづ代（県健康政策課がん・生活習慣病対策室長）	田中 裕子（附属病院胸部外科診療科群助教）
來間 美帆（県医師会理事）	廣岡 保明（県立中央病院院長）	
小寺 正人（鳥取市立病院診療局長）	前田 啓之（県立中央病院部長）	
小林 哲（小林外科内科医院院長）	永美 知沙（中部総合事務所倉吉保健所 健康支援総務課課長補佐）	
尾崎 舞（東部医師会）		
大田里香子（中部医師会）		
鈴木 喜雅（西部医師会）		

市町村保健師代表者：宇佐見和美（米子市健康対策課係長）
鳥取県保健事業団：宮脇 朋子（施設健診課放射線係長）

6. 大腸がん対策専門委員会【委員長：濱本哲郎（博愛病院院長特別補佐）】

医 師 会	県	鳥取大学医学部・附属病院
瀬川 謙一（県医師会副会長）	川本かづ代（県健康政策課がん・生活習慣病対策室長）	八島 一夫（統合内科医学講座消化器・腎臓内科学分野准教授）
岡田 克夫（県医師会常任理事）	柳谷 淳志（県立中央病院部長）	
秋藤 洋一（県医師会常任理事）	藤井 秀樹（米子保健所長）	
田中 久雄（千代水の森おなかと 内科のクリニック院長）		
後藤 大輔（東部医師会）		
牧野 正人（中部医師会）		
山口 研一（西部医師会）		

市町村保健師代表者：浦野こな実（琴浦町役場すこやか健康課主任保健師）
鳥取県保健事業団：片岡 憲一（健診事業部次長）

7. 肝臓がん対策専門委員会【委員長：孝田雅彦（日野病院長）】

医 師 会	県	鳥取大学医学部・附属病院
瀬川 謙一（県医師会副会長）	角田 智玲（県健康医療局健康政策課長）	永原 天和（統合内科医学講座消化器・腎臓内科医学分野講師）
岡田 克夫（県医師会常任理事）	前田 和範（県立中央病院部長）	
陶山 和子（西伯病院介護医療院長）	三好 謙一（県立厚生病院部長）	
前田 直人（山陰労災病院副院長）	河津 麻樹（西部総合事務所米子保健所 健康支援総務課課長補佐）	
谷口 英明（鳥取市立病院主任部長）		
岡野 淳一（済生会境港総合病院部長）		
松木由佳子（鳥取赤十字病院副部長）		
満田 朱理（千代水の森おなかと 内科のクリニック）		
大山 賢治（おおやま内科クリニック院長）		
松田 裕之（東部医師会）		
福羅 匡普（中部医師会）		

市町村保健師代表者：渡邊茉莉奈（若桜町役場保健センター保健師）

鳥取県保健事業団：山下 裕子（施設健診課課長）

8. 若年者心臓検診対策専門委員会【委員長：吉田泰之（鳥取県立中央病院副院長）】

医 師 会	県	鳥取大学医学部・附属病院
岡田 克夫（県医師会常任理事）	遠藤 紅弥（県子ども家庭部子育て王国課長）	吉川 泰司（器官制御外科学講座心臓血管外科学分野教授）
船田 裕昭（山陰労災病院部長）	山本 雅文（県体育保健課長）	美野 陽一（統合内科医学講座周産期・小児医学分野助教）
石谷 暢男（東部医師会）	倉信 裕樹（県立中央病院部長）	
西田 法孝（中部医師会）	橋田祐一郎（県立厚生病院部長）	
長田 郁夫（西部医師会）	長井 大（鳥取市保健所長）	

鳥取県保健事業団：三上 慶子（施設健診課臨床検査係長）

9. 母子保健対策専門委員会【委員長：難波範行（鳥取大学医学部統合内科医学講座周産期・小児医学分野教授）】

医 師 会	県	鳥取大学医学部・附属病院
岡田 克夫（県医師会常任理事）	松本 夏実（県子ども家庭部家庭支援課長）	前垣 義弘（脳神経医学講座脳神経小児科学分野教授）
松田 隆（県医師会常任理事）	花木 啓一（県立厚生病院長）	山田 祐子（統合内科医学講座周産期・小児医学分野助教）
岡田 隆好（県立総合療育センター副院長）	宇都宮 靖（県立中央病院副院長）	
村江 正始（鳥取県産婦人科医会長）	高橋 弘幸（県立中央病院部長）	
林 篤（山陰労災病院部長）	橋田祐一郎（県立厚生病院部長）	
石谷 暢男（東部医師会）	木山 智義（県立厚生病院部長）	
井奥 研爾（中部医師会）	河津 麻樹（西部総合事務所米子保健所 健康支援総務課課長補佐）	
井庭 貴浩（西部医師会）		

市町村保健師代表者：村岡美由紀（北栄町役場教育総務課（子育て世代包括支援センター）保健師）

岸岡 博子（境港市役所健康づくり推進課主任保健師）

10. 疾病構造の地域特性対策専門委員会【委員長：瀬川謙一（県医師会副会長）】

医 師 会	県	鳥取大学医学部・附属病院
清水 正人（県医師会長）※ ¹ 岡田 克夫（県医師会常任理事） 山崎 大輔（県医師会理事）※ ¹	角田 智玲（県健康医療局健康政策課長）	景山 誠二（医学部長） 武中 篤（附属病院長）

11. 公衆衛生活動対策専門委員会【委員長：辻田哲朗（県医師会副会長）】

医 師 会	県	鳥取大学医学部・附属病院
岡田 克夫（県医師会常任理事） 福島 寛子（県医師会理事）※ ¹ 能勢 隆之（中国労働衛生協会） 加藤 達生（東部医師会） 深田 悟（中部医師会） 佐々木修治（西部医師会）	川本かつ代（県健康政策課がん・生活習慣病対策室長） 山本 雅丈（県体育保健課長） 廣岡 保明（県立中央病院長） 小倉加恵子（倉吉保健所長） 池山 恒平（県衛生環境研究所長）	尾崎 米厚（社会医学講座環境予防医学分野教授）

鳥取県保健事業団：米本幸寿（常務理事兼事務局長）

12. 生活習慣病対策専門委員会【委員長：谷口晋一（鳥取大学医学部地域医療学講座教授）】

医 師 会	県	鳥取大学医学部・附属病院
岡田 克夫（県医師会常任理事） 野口圭太郎（県医師会理事）※ ¹ 中安 弘幸（中安脳神経・内科クリニック院長） 吉田 泰之（東部医師会） 山本 了（中部医師会） 越智 寛（西部医師会）	角田 智玲（県健康医療局健康政策課長） 宗村 千潮（県立中央病院医療局長兼腎臓内科部長） 藤井 秀樹（米子保健所長）	山本 一博（総合内科医学講座循環器・内分泌代謝内科学分野教授） 黒崎 雅道（脳神経医学講座脳神経外科学分野教授） 花島 律子（脳神経医学講座脳神経内科学分野教授） 高田 知朗（附属病院腎臓内科長講師）

市町村保健師代表者：岡崎 由佳（鳥取市保健所健康づくり推進課健診推進室主任）
鳥取県保健事業団：梶川 貴子（企画調整課統括保健師）

13. 地域医療研修及び健康情報対策専門委員会【委員長：荒金美斗（県福祉保健部健康医療局長）】

医 師 会	県	鳥取大学医学部・附属病院
清水 正人（県医師会長） 岡田 克夫（県医師会常任理事） 永島 英樹（県医師会常任理事） 山田 七子（県医師会理事）※ ¹ 石谷 暢男（東部医師会長） 安梅 正則（中部医師会長） 藤瀬 雅史（西部医師会長）※ ²	澤田 和明（県ささえあい福祉局長寿社会課長） 福井 恒（県健康医療局医療政策課長）	景山 誠二（医学部長） 武中 篤（附属病院長） 谷口 晋一（地域医療学講座教授） 福本 宗嗣（鳥取県地域医療支援センター専任医師）

別 記 (10)

鳥取県生活習慣病検診等管理指導協議会総合部会委員名簿

(敬称略)

部 会 名	氏 名	勤 務 先	職 名
健 対 協 会 長	清水 正人	清水病院	理 事 長
循 環 器 疾 患 等	○ 山本 一博 谷口 晋一	鳥取大学医学部統合内科医学講座循環器・内分泌代謝内科学分野 鳥取大学医学部地域医療学講座	教 授 教 授
胃 が ん	○ 磯本 一 岡田 克夫	鳥取大学医学部統合内科医学講座消化器・腎臓内科学分野 おかだ内科	教 授 院 長
子 宮 が ん	○ 谷口 文紀 皆川 幸久	鳥取大学医学部器官制御外科学講座産科婦人科学分野 鳥取県保健事業団総合保健センター	教 授 所 長
肺 が ん	○ 中村 廣繁 小谷 昌広	鳥取県保健事業団西部健康管理センター 鳥取大学医学部附属病院がんセンター	 センター長
乳 が ん	○ 鈴木 喜雅 山口 由美	鈴木クリニック 鳥取赤十字病院第二外科	院 長 部 長
大 腸 が ん	○ 八島 一夫 濱本 哲郎	鳥取大学医学部統合内科医学講座消化器・腎臓内科学分野 博愛病院	准 教 授 院長特別補佐
がん登録対策専門委員会	尾崎 米厚	鳥取大学医学部社会医学講座環境予防医学分野	教 授

○印は各部会の部会長

(参 考)

肝炎対策協議会・肝臓がん対策専門委員会

(敬称略)

委 員 会 名	氏 名	勤 務 先	職 名
肝 炎 対 策 協 議 会	松田 裕之	まつだ内科医院	院 長
肝臓がん対策専門委員会	孝田 雅彦	日野病院	院 長

鳥取県生活習慣病検診等管理指導協議会部会委員名簿

(任期：令和6年4月1日～令和8年3月31日)

(順不同・アンダーラインは部会長)

部 会 名	氏 名	職 名 (勤務先)
循環器疾患等	山 本 一 博	鳥取大学医学部統合内科医学講座循環器・内分泌代謝内科学分野教授
	谷 口 晋 一	鳥取大学医学部地域医療学講座教授
	黒 崎 雅 道	鳥取大学医学部脳神経医科学講座脳神経外科学分野教授
	中 安 弘 幸	中安脳神経・内科クリニック院長
	花 島 律 子	鳥取大学医学部脳神経医科学講座脳神経内科学分野教授
	藤 井 秀 樹	米子保健所長
	計7名	宗 村 千 潮 鳥取県立中央病院医療局長兼腎臓内科部長
胃 が ん	磯 本 一	鳥取大学医学部統合内科医学講座消化器・腎臓内科学分野教授
	岡 田 克 夫	おかだ内科院長
	秋 藤 洋 一	鳥取県保健事業団理事長
	齊 藤 博 昭	鳥取赤十字病院副院長
	瀬 川 謙 一	瀬川医院長
	田 中 究	鳥取県立中央病院消化器内科部長
	計7名	藤 原 義 之 鳥取大学医学部器官制御外科学講座消化器・小児外科学分野教授
子 宮 が ん	谷 口 文 紀	鳥取大学医学部器官制御外科学講座産科婦人科学分野教授
	皆 川 幸 久	鳥取県保健事業団総合保健センター所長
	佐 藤 慎 也	鳥取大学医学部附属病院女性診療科群講師
	周 防 加 奈	鳥取県立厚生病院産婦人科部長
	長 井 大	鳥取市保健所長
	村 江 正 始	鳥取県産婦人科医会長
	計7名	脇 田 邦 夫 脇田産婦人科医院長
肺 が ん	中 村 廣 繁	鳥取県保健事業団西部健康管理センター
	小 谷 昌 広	鳥取大学医学部附属病院がんセンター長
	杉 本 勇 二	鳥取県立中央病院副院長
	徳 安 祐 輔	鳥取県立中央病院病理診断科部長兼臨床検査科部長
	春 木 朋 広	鳥取大学医学部附属病院胸部外科診療科群准教授
	高 木 雄 三	鳥取県立厚生病院胸部外科部長
	計7名	山 口 耕 介 鳥取大学医学部統合内科医学講座呼吸器・膠原病内科学分野講師
乳 が ん	鈴 木 喜 雅	鈴木クリニック院長
	山 口 由 美	鳥取赤十字病院第二外科部長
	小 寺 正 人	鳥取市立病院診療局長
	小 林 哲	小林外科内科医院長
	廣 岡 保 明	鳥取県立中央病院院長
	前 田 啓 之	鳥取県立中央病院呼吸器・乳腺・内分泌外科部長
	計7名	宮 脇 朋 子 鳥取県保健事業団施設健診課放射線係長

部 会 名		氏 名	職 名（勤務先）
大 腸 が ん	計 7 名	八 島 一 夫	鳥取大学医学部統合内科医学講座消化器・腎臓内科学分野准教授
		濱 本 哲 郎	博愛病院院長特別補佐
		浦 野 こな実	琴浦町役場すこやか健康課主任保健師
		片 岡 憲 一	鳥取県保健事業団健診事業部次長
		後 藤 大 輔	内科・消化器内科 片原ごとうクリニック院長
		田 中 久 雄	千代水の森 おなかと内科のクリニック院長
		柳 谷 淳 志	鳥取県立中央病院消化器内科部長兼内視鏡室長
生活習慣病登録評価部会	がん登録委員会 計 7 名	尾 崎 米 厚	鳥取大学医学部社会医学講座環境予防医学分野教授
		岡 田 克 夫	おかだ内科院長
		小 倉 加恵子	倉吉保健所長
		杉 谷 篤	博愛病院腎臓外科部長
		花 木 啓 一	鳥取県立厚生病院長
		廣 岡 保 明	鳥取県立中央病院長
		廣 瀬 奎 介	鳥取県医師会事務局主事

※県は、「鳥取県生活習慣病検診等管理指導協議会設置要綱」を平成26年5月18日に改正

《主な改正点》

- （１）生活習慣病検診等管理指導協議会の運営を鳥取県健康対策協議会に委託
- （２）生活習慣病検診等管理指導協議会委員の委嘱を鳥取県健康対策協議会長に改正
- （３）生活習慣病検診等管理指導協議会の庶務を鳥取県健康対策協議会事務局に改正

別 記（12）

鳥取県母子保健対策協議会委員名簿

（任期：令和6年4月1日～令和8年3月31日）

（順不同・アンダーラインは会長）

部 会 名		氏 名	職 名（勤務先）
母子保健対策協議会	計 7 名	村 江 正 始	鳥取産院長
		宇都宮 靖	鳥取県立中央病院副院長
		山 田 祐 子	鳥取大学医学部統合内科医学講座周産期・小児医学分野助教
		松 田 隆	まつだ小児科医院長
		村 岡 美由紀	北栄町役場教育総務課（子育て世代包括支援センター）保健師
		岸 岡 博 子	境港市役所健康づくり推進課主任保健師
		河 津 麻 樹	西部総合事務所米子保健所健康支援総務課課長補佐

※県は「鳥取県母子保健対策協議会設置要綱」を平成30年6月1日に改正。

協議会委員は、平成30年度より鳥取県健康対策協議会長が任命。

別 記 (13)

鳥取県がん登録あり方検討ワーキンググループ委員名簿

(任期：令和6年4月1日～令和8年3月31日)

【敬称略／順不同】

所 属	役 職	氏 名
鳥取大学医学部社会医学講座環境予防医学分野	教 授	尾 崎 米 厚
鳥取県医師会	常任理事	岡 田 克 夫
鳥取大学医学部社会医学講座環境予防医学分野		三 浦 賀代子
鳥取県福祉保健部	部 長	中 西 眞 治
鳥取県医師会	事務局長	岡 本 匡 史

別 記 (14)

母子保健対策小委員会委員名簿

(任期：令和6年4月1日～令和8年3月31日)

【敬称略／順不同】

所 属	役 職	氏 名
鳥取県医師会	常任理事	松 田 隆
鳥取大学医学部脳神経医科学講座脳神経小児科学分野	教 授	前 垣 義 弘
鳥取県立総合総合療育センター	副 院 長	岡 田 隆 好
鳥取県立厚生病院新生児集中治療室	部 長	橋 田 祐一郎
子育て長田こどもクリニック	院 長	長 田 郁 夫
おおたにこども・ファミリークリニック	院 長	大 谷 英 之
岡本小児科医院	院 長	岡 本 賢
鳥取県立中央病院小児科	部 長	戸 川 雅 美
鳥取大学医学部脳神経医科学講座脳神経小児科学分野	助 教	中 村 裕 子
ふなきこどもクリニック	院 長	船 木 聡
鳥取大学医学部統合内科医学講座周産期・小児医学分野	助 教	美 野 陽 一
北栄町役場教育総務課（子育て世代包括支援センター）	保 健 師	村 岡 美由紀
境港市役所健康づくり推進課	主任保健師	岸 岡 博 子

拡大新生児マススクリーニング検査小委員会委員名簿

(任期：令和6年4月1日～令和8年3月31日)

【敬称略／順不同】

所 属	役 職	氏 名
鳥取大学研究推進機構研究基盤センター	教 授	栗 野 宏 之
鳥取大学医学部附属病院周産期・小児医学分野	教 授	難 波 範 行
鳥取大学医学部附属病院脳神経小児科学分野	教 授	前 垣 義 弘
鳥取大学医学部附属病院産科婦人科学分野	教 授	谷 口 文 紀
鳥取県産科婦人科医会	会 長	村 江 正 始
鳥取県立中央病院産婦人科	部 長	高 橋 弘 幸
鳥取県立厚生病院産婦人科	部 長	木 山 智 義
鳥取県小児科医会	会 長	石 谷 暢 男
北栄町役場教育総務課（子育て世代包括支援センター）	保 健 師	村 岡 美由紀
境港市役所健康づくり推進課	主任保健師	岸 岡 博 子

別 記 (16)

鳥取県循環器病対策推進に関する小委員会委員名簿

(任期：令和6年4月1日～令和8年3月31日)

(県は「循環器病対策推進に関する小委員会設置要綱」を令和4年5月13日に新設)

【心血管疾患関連】

【敬称略／順不同】

所 属	役 職	氏 名
鳥取大学医学部統合内科医学講座循環器・内分泌代謝内科学分野	教 授	山 本 一 博
鳥取大学医学部器官制御外科学講座心臓血管外科学分野	教 授	吉 川 泰 司
鳥取大学医学部統合内科医学講座循環器・内分泌代謝内科学分野	講 師	加 藤 克
加藤医院	院 長	加 藤 達 生
鳥取県立中央病院	副 院 長	吉 田 泰 之
藤井政雄記念病院	院 長	宮 崎 聡
山陰労災病院 第3循環器科	部 長	水 田 栄之助
つのだ内科・循環器内科クリニック	院 長	角 田 郁 代
境港市自治連合会	副 会 長	畑 野 成 至*

【脳血管疾患関連】

【敬称略／順不同】

所 属	役 職	氏 名
鳥取大学医学部脳神経医科学講座脳神経外科学分野	教 授	黒 崎 雅 道
鳥取大学医学部脳神経医科学講座脳神経外科学分野	准 教 授	坂 本 誠
鳥取大学医学部脳神経医科学講座脳神経内科学分野	教 授	花 鳥 律 子
鳥取大学医学部脳神経医科学講座脳神経内科学分野	講 師	瀧 川 洋 史
鳥取県立厚生病院脳神経内科	医 長	阪 田 良 一
中安脳神経・内科クリニック	院 長	中 安 弘 幸
鳥取県立中央病院脳神経外科	部 長	田 淵 貞 治
ウェルフェア北園渡辺病院	院 長	日 笠 親 績
鳥取県立厚生病院	副 院 長	紙 谷 秀 規
野島病院脳神経外科	部 長	竹 内 啓 九
(株)皆生グランドホテル天水／華水亭	代表取締役社長	伊 坂 明*

※患者及び患者であった者並びにこれらの者の家族又は遺族を代表する者

令和6年度鳥取県健康対策協議会事業計画

() の数字は令和6年度予算額

(単位：千円)

1. がん登録対策専門委員会【委員長：尾崎米厚（鳥大医社会医学講座環境予防医学教授）】

事業内容	摘要
1. 令和2年がん罹患・受療状況標準集計 2. 補充届出票による廻り調査、各種検診発見がんからの登録 3. 「全国がん登録データベースシステム」運用・オンライン届出の研修会の開催及び利活用 4. 「鳥取県がん登録あり方検討ワーキンググループ」検討会 (7,803)	1. 日本がん登録全国協議会第33回学術集会参加（ <u>鳥根県出雲市</u> ） 2. 「鳥取県がん登録事業報告書（令和2.3年集計）」作成

2. 胃がん対策専門委員会【委員長：岡田克夫（県医師会常任理事）】

事業内容	摘要
1. 集団検診実施状況の評価、検討 2. 胃がん検診フィルムの読影と胃がん検診発見胃がん患者の確定調査 3. 胃がん検診精密検査医療機関登録 4. 胃がん一次検診における内視鏡検査の精度管理 5. 車検診におけるデジタル化に伴う読影 6. 胃がん対策としてのピロリ菌検査・ペプシノゲン検査の検討 (5,387)	1. 各地区読影委員会設置 2. 従事者講習会及び症例研究会（ <u>中部</u> ） 3. <u>胃がん検診（X線）実施に係る手引き一部改正</u> 4. <u>胃がん実施体制の見直し検討（対象年齢・受診間隔）</u> 5. 第55回日本消化器がん検診学会中国四国地方会参加（ <u>広島県広島市</u> ）

3. 子宮がん対策専門委員会【委員長：皆川幸久（鳥取県保健事業団総合保健センター所長）】

事業内容	摘要
1. 検診実施状況の評価、検討（特に精検受診率の向上） 2. 検診発見がん患者の確定調査 3. 精密検査紹介状及び確定調査結果報告の運用状況評価 4. 若年者の受診率向上対策 5. HPV単独法導入に対応可能な「鳥取県子宮がん検診実施に係る手引き」の改訂準備作業 6. HPVワクチン接種勧奨 (1,428)	1. 従事者講習会及び症例検討会（ <u>未定</u> ） 2. 子宮がん検診細胞診委員会設置

4. 肺がん対策専門委員会【委員長：小谷昌広（鳥取大学医学部附属病院がんセンター長）】

事業内容	摘要
1. 集団検診実施状況の評価、検討 2. 精密検査による肺がん確定診断の調査 3. 肺がん検診精密検査医療機関登録 4. 肺がん医療機関検診実施 5. デジタル化に伴う読影 6. 肺がん検診細胞診検査の精度管理向上対策（21,031）	1. 従事者講習会及び症例研究会（東部） 2. 肺がん検診読影委員会及び細胞診委員会設置 3. 肺がん個別検診読影委員会設置

5. 乳がん対策専門委員会【委員長：山口由美（鳥取赤十字病院第二外科部長）】

事業内容	摘要
1. 集団検診実施状況の評価、検討 2. 乳がん検診一次検査（乳房エックス線撮影）医療機関登録 3. 乳がん検診精密検査医療機関登録 4. 検診発見乳がん患者の確定調査及びマンモグラフィ単独検診の検証 5. 乳がん検診受診票・精検報告書の運用 6. マンモグラフィ読影医師資格更新費用助成（19,384）	1. 従事者講習会及び症例検討会（西部） 2. 各地区症例検討会 3. 鳥取県乳がん検診マンモグラフィ読影委員会設置

6. 大腸がん対策専門委員会【委員長：濱本哲郎（博愛病院院長特別補佐）】

事業内容	摘要
1. 集団検診実施状況の評価、検討 2. 検診発見大腸がん患者の確定調査 3. 大腸がん検診精密検査医療機関登録 (560)	1. 従事者講習会及び症例研究会（中部） 2. 大腸がん注腸読影委員会設置 3. 大腸がん検診読影講習会 4. 大腸がん注腸読影指導会

7. 肝臓がん対策専門委員会【委員長：孝田雅彦（日野病院長）】

事業内容	摘要
1. 集団検診実施状況の評価、検討 2. 肝臓がん検診精密検査医療機関登録 3. 検診発見肝臓がん患者の確定調査 (575)	1. 従事者講習会及び症例研究会（中部）

8. 若年者心臓検診対策専門委員会【委員長：吉田泰之（鳥取県立中央病院副院長）】

事業内容	摘要
1. 乳幼児・児童生徒の心臓疾患対策 2. 心電図判読 (5,257)	1. 各地区判読委員会設置 2. 心臓検診従事者講習会（中部） 3. 若年者心疾患・生活習慣病対策協議会総会参加（岐阜県岐阜市）

9. 母子保健対策専門委員会【委員長：難波範行（鳥大医統合内科医学講座周産期・小児医学分野教授）】

事業内容	摘要
1. 母子保健事業の評価 2. 母子保健に係る「切れ目のない支援体制」・「鳥取県産後健康診査事業」（令和元年度（平成31年度）より開始） 3. 5歳児健診マニュアル改訂について 4. 乳幼児健診マニュアル医師診察項目の改定について (829)	1. 母子保健対策小委員会開催 5歳児健診マニュアル、乳幼児健診マニュアルの改定について検討 2. 拡大新生児マススクリーニング検査小委員会開催 3. 研修会開催

10. 疾病構造の地域特性対策専門委員会【委員長：瀬川謙一（県医師会副会長）】

事業内容	摘要
1. 鳥取県の肝細胞癌の実態と非ウイルス性肝疾患の拾い上げ研究等（5項目） 2. 母子保健調査研究 (3,011)	

11. 公衆衛生活動対策専門委員会【委員長：辻田哲朗（県医師会副会長）】

事業内容	摘要
1. 健康教育対策 2. 地域保健対策 3. 生活習慣病対策 (2,139)	1. 公開健康講座、生活習慣病対策セミナー（とっとり県民カレッジ連携講座） 2. 地域保健対策研究事業

12. 生活習慣病対策専門委員会【委員長：谷口晋一（鳥大医地域医療学講座教授）】

事業内容	摘要
1. 特定健診・特定保健指導実施状況の評価、検討 2. 慢性腎臓病対策事業の検討 (1,650)	1. 鳥取県循環器病対策推進計画の進捗管理と課題抽出 2. 循環器病対策推進に関する小委員会（脳・心血管疾患）開催（2回；Web開催） 3. 循環器病に関する一般向け講演会、多職種連携従事者研修会開催（2回） 4. 予防啓発資料作成

13. 地域医療研修及び健康情報対策専門委員会【委員長：荒金美斗（鳥取県福祉保健部健康医療局長）】

事業内容	摘要
1. 地域医療の充実についての検討 2. 健康、医療に関わる計画について検討 (139)	

別 記 (18)

令和6年度鳥取県健康対策協議会予算書

〈収入の部〉

(単位：千円)

款 項 目	節	予算額	前年度予算額	増△減	摘 要
1. 県 支 出 金		24,164	24,133	31	
1) 委 託 金		20,487	20,456	31	
(1) がん登録及び解析 評価事業費委託金		7,242	7,242	0	委託金6,584千円 +消費税658千円
	1. がん登録及び解析 評価事業費委託金	7,242	7,242	0	
(2) 県民健康対策調査 研究事業費委託金		2,973	2,973	0	委託金2,703千円 +消費税270千円
	1. 県民健康対策調査 研究事業費委託金	2,973	2,973	0	
(3) 健康診査管理支援 事業費委託金		2,677	3,117	△440	委託金2,434千円 +消費税243千円
	1. 健康診査管理支援 事業費委託金	2,677	3,117	△440	
(4) 生活習慣病予防セミナー 開催事業費委託金		1,450	1,450	0	委託金1,318千円 +消費税132千円
	1. 生活習慣病予防セミナー 開催事業費委託金	1,450	1,450	0	
(5) がん検診精度確保 事業費委託金		3,704	3,704	0	委託金3,367千円 +消費税337千円
	1. がん検診精度確保 事業費委託金	3,704	3,704	0	
(6) 肝臓がん検診従事者講習会 開催等事業費委託金		293	293	0	委託金266千円 +消費税27千円
	1. 肝臓がん検診従事者講習会 開催等事業費委託金	293	293	0	
(7) 肺がん医療機関検診読影 委員会開催事業費委託金		603	603	0	委託金548千円 +消費税55千円
	1. 肺がん医療機関検診読影 委員会開催事業費委託金	603	603	0	
(8) 母子保健推進体制 整備事業費委託金		805	494	311	委託金732千円 +消費税73千円
	1. 母子保健推進体制 整備事業費委託金	805	494	311	
(9) 循環器病に関する研修会 及び普及啓発等事業		740	580	160	委託金673千円 +消費税67千円
	1. 循環器病に関する研修会 及び普及啓発等事業	740	580	160	
2) 県 負 担 金		3,677	3,677	0	
(1) 事務局強化対策 負担金		3,677	3,677	0	
	1. 事務局強化対策 負担金	3,677	3,677	0	
2. 保健事業団支出金		25,245	23,934	1,311	
1) 委 託 金		25,245	23,934	1,311	

款 項 目	節	予算額	前年度予算額	増△減	摘 要
(1)胃集検読影 事業費委託金		4,840	4,400	440	@440×11,000件 (消費税等込み)
	1. 胃集検読影 事業費委託金	4,840	4,400	440	
(2)子宮がん検診 事業費委託金		1,009	1,009	0	細胞診1次直接塗抹法 @440×20件 細胞診1次LBC法 @330×630件 最終判定@990×800件 (消費税等込み)
	1. 子宮がん検診 事業費委託金	1,009	1,009	0	
(3)肺がん検診 事業費委託金		4,586	4,485	101	胸部X線読影料 @121×36,000件 細胞診1次@440×500件 最終判定@990×10件 (消費税等込み)
	1. 肺がん検診 事業費委託金	4,586	4,485	101	
(4)乳がん検診 事業費委託金		10,010	9,240	770	マンモグラフィ読影料 @770×13,000件 (消費税等込み)
	1. 乳がん検診 事業費委託金	10,010	9,240	770	
(5)若年者心臓検診 事業費委託金		4,400	4,400	0	判読料@220×20,000件 (消費税等込み)
	1. 心電図判読検査 事業費委託金	4,400	4,400	0	
2)補助金		400	400	0	
(1)各専門委員会 連絡調整補助金		400	400	0	
	1. 各専門委員会 連絡調整補助金	400	400	0	
3. 市町村等支出金		23,100	23,100	0	
1)市町村委託金		23,100	23,100	0	
(1)肺がん医療機関 検診事業費委託金		15,400	15,400	0	胸部X線読影料 @440×35,000件 (消費税等込み)
	1. 肺がん医療機関 検診事業費委託金	15,400	15,400	0	
(2)乳がん検診 事業費委託金		7,700	7,700	0	マンモグラフィ読影料 @770×10,000件 (消費税等込み)
	1. 乳がん検診 事業費委託金	7,700	7,700	0	
4. その他委託金		1,056	726	330	
1)委託金		1,056	726	330	
(1)若年者心臓検診 事業費委託金		627	297	330	いなば財団@220×2,600件 (消費税込み) 岩美病院@220×250件 (消費税込み)
	1. 心電図判読検査 事業費委託金	627	297	330	
(2)胃集検読影 事業費委託金		220	220	0	中国労働衛生協会 @440×500件(消費税等込み)
	1. 胃集検読影 事業費委託金	220	220	0	

款 項 目	節	予算額	前年度予算額	増△減	摘 要
(3)肺がん検診 事業費委託金		132	132	0	中国労働衛生協会 @132×1,000件 (消費税等込み)
	1. 肺がん検診 事業費委託金	132	132	0	
(4)乳がん検診 事業費委託金		77	77	0	中国労働衛生協会 @770×100件
	1. 乳がん検診 事業費委託金	77	77	0	
5. 県医師会補助金		1,300	1,300	0	
1) 県医師会補助金		1,300	1,300	0	
(1)運営費補助金		1,300	1,300	0	
	1. 運営費補助金	1,300	1,300	0	
6. 寄 付 金		1	1	0	
1) 寄 付 金		1	1	0	
(1)寄 付 金		1	1	0	
	1. 寄 付 金	1	1	0	
7. 諸 収 入		47	44	3	
1) 預 金 利 子		1	1	0	
(1)預 金 利 子		1	1	0	
	1. 預 金 利 子	1	1	0	
2) 労働者保険料 被保険者負担分収入		46	43	3	労働保険料事業主立替分収入
(1)労働者保険料 被保険者負担分収入		46	43	3	
	1. 労働者保険料 被保険者負担分収入	46	43	3	
8. 繰 越 金		3,861	4,273	△412	
1) 前年度繰越金		3,861	4,273	△412	
(1)前年度繰越金		3,861	4,273	△412	
	1. 前 年 度 繰 越 金	3,861	4,273	△412	
収 入 合 計		78,774	77,511	1,263	

〈支出の部〉

(単位：千円)

款 項 目	節	予算額	前年度予算額	増△減	摘 要
1. 総 務 費		6,577	6,478	99	
1) 会 議 費		788	788	0	
(1) 理 事 会 費		788	788	0	
	9. 旅 費	285	285	0	理事会(1回)250,000円 監事会10,000円、車代25,000円
	11. 需 用 費	443	443	0	資料印刷代370,000円、消耗品費26,200円 理事会会議諸費6,000円 新聞購読料40,800円
	12. 役 務 費	50	50	0	通信運搬費
	14. 使 用 料	10	10	0	会場使用料
2) 各 専 門 委 員 会 連 絡 調 整 費		1,396	1,488	△92	
(1) 各 専 門 委 員 会 連 絡 調 整 費		1,396	1,488	△92	
	9. 旅 費	785	840	△55	総合部会270,000円、車代8,000円 一般旅費305,000円 ・事業打合せ80,000円 健康医療相談225,000円 ・全国がん検診指導者講習会(事務局・東京)202,000円
	11. 需 用 費	418	435	△17	コピー代80,000円、食糧費30,000円 消耗品費78,000円、会報印刷代200,000円 封筒印刷代30,000
	12. 役 務 費	183	203	△20	電話代45,000円、郵送料100,000円 振込手数料24,800円 IB基本手数料13,200円
	14. 使 用 料	10	10	0	会場使用料
3) 給 料		2,316	2,316	0	専従職員1名分
(1) 給 料		2,316	2,316	0	
	19. 負 担 金	2,316	2,316	0	
4) 納税申告作成費		316	316	0	
(1) 消費税申告作成費		78	78	0	
	8. 報 償 費	77	77	0	消費税申告書作成報酬
	12. 役 務 費	1	1	0	通信運搬費
(2) 会計・給料システム レ ン タ ル 料		238	238	0	
	12. 役 務 費	2	2	0	通信運搬費
	14. 賃 借 料	236	236	0	会計システムレンタル料79,200円 給料システムレンタル料79,200円 マイポータルレンタル料66,000円 法定調書ソフト11,000円
5) 公 租 公 課 費		1,761	1,570	191	
(1) 公 租 公 課 費		1,761	1,570	191	

款 項 目	節	予算額	前年度予算額	増△減	摘 要
	27. 公租公課費	1,761	1,570	191	健康対策費のうち以下の項目で公租公課費 1,825千円支出 ※ 胃がん対策費 150千円 子宮がん対策費 20千円 肺がん対策費 1,200千円 乳がん対策費 375千円 若年者心臓検診対策費 80千円 小 計 1,825千円 合 計 3,586千円
2. 健康対策費		72,197	71,033	1,164	
1) がん登録費		7,803	7,786	17	
(1) がん登録費		7,803	7,786	17	
	4. 共 済 費	380	380	0	非常勤任用職員（1人） 社会保険料280,000円 労働保険料100,000円
	7. 賃 金	5,542	5,268	274	がん登録事務補助員 賃金 @990×1,370時間×4人=5,425,200円 通勤手当116,400円
	8. 報 償 費	106	106	0	報告書執筆謝金50,000円 全国がん登録研修会講師謝礼（1名） 55,685円
	9. 旅 費	405	683	△278	専門委員会（1回）120,000円 ワーキンググループ会議（1回）45,000円 全国がん登録オンライン届出研修会旅費 50,000円 日本がん登録協議会60,000円 診断票検査旅費120,000円、車代10,000円
	11. 需 用 費	740	699	41	「がん登録事業報告書」印刷代500,000円 会報印刷代100,000円、食糧費10,000円 コピー代30,000円、消耗品費100,000円
	12. 役 務 費	270	280	△10	通信運搬費200,000円 振込手数料10,000円 日本がん登録協議会参加費6名 60,000円
	13. 委 託 料	300	300	0	全国がん登録データ取り込み等一式
	14. 使 用 料	60	70	△10	会場使用料
2) 胃がん対策費		5,387	5,065	322	
(1) 胃がん対策費		5,387	5,065	322	
	4. 共 済 費	54	54	0	非常勤任用職員（1人）社会保険料 42,000円 労働保険料12,000円
	7. 賃 金	664	634	30	非常勤任用職員1人分賃金（4か月分）
	8. 報 償 費	2,245	2,095	150	講習会講師謝金111,370円 読影謝金 @10,000×210人=2,100,000円 胃がん検診発見患者確定調査謝金 33,411円
	9. 旅 費	712	650	62	専門委員会（2回）300,000円 車代5,000円 日本消化器がん検診学会中国四国地方会 （広島）291,220円 がん征圧大会35,780円 講習会講師交通費・宿泊代80,000円 コピー代50,000円、消耗品費100,300円 食糧費50,000円、会報印刷代120,000円 各地区読影会事務費60,000円 看板作成代7,700円
	11. 需 用 費	388	388	0	通信運搬費110,000円、振込手数料30,000円 読影委員傷害保険料54,000円
	12. 役 務 費	194	164	30	
	13. 委 託 料	880	880	0	がん検診読影業務委託料（東部、中部）
	14. 使 用 料	100	100	0	会場借上料

款 項 目	節	予算額	前年度予算額	増△減	摘 要
3) 子宮がん対策費	27. 公租公課費	150	100	50	
		1,428	1,438	△10	
	(1) 子宮がん対策費	1,428	1,438	△10	
	8. 報 償 費	990	990	0	講習会講師謝金111,370円 細胞診一次謝金 直接塗抹法 @350×20件=7,000円 細胞診一次謝金 LBC法 @250×630件=157,500円 最終判定謝金 @850×800件=680,000円 子宮がん検診発見患者確定調査謝金 33,411円
	9. 旅 費	240	240	0	専門委員会(2回)210,000円、車代10,000円 講習会講師交通費・宿泊代20,000円
	11. 需 用 費	88	88	0	消耗品費10,000円、食糧費10,300円 会報印刷代60,000円、看板作成代7,700円
	12. 役 務 費	40	50	△10	通信運搬費、送金手数料
	14. 使 用 料	50	50	0	会場借上料
	27. 公租公課費	20	20	0	
		21,031	20,981	50	
4) 肺がん対策費		20,428	20,378	50	
	(1) 肺がん対策費				
	4. 共 済 費	80	80	0	非常勤任用職員(1人)社会保険料 64,000円 労働保険料16,000円
	7. 賃 金	1,668	1,591	77	非常勤任用職員2人分賃金
	8. 報 償 費	12,901	12,870	31	講習会講師謝金111,370円 フィルム読影料 @65×36,000件 =2,340,000円 読影謝金(車検診) @9,500×200人 =1,900,000円 〃 (医療機関) @9,500×750人 =7,125,000円 〃 (車検診+医療機関) @11,500×105人 =1,207,500円 細胞診一次謝金 @350×500件 =175,000円 最終判定謝金 @850×10件 =8,500円 肺がん検診発見患者確定調査謝金33,411円
	9. 旅 費	500	500	0	専門委員会(2回)300,000円、車代20,000円 講習会講師交通費・宿泊代(1回)180,000円
	11. 需 用 費	1,989	2,047	△58	コピー代162,000円、食糧費21,300円 会報印刷代130,000円、消耗品費88,000円 看板作成代7,700円 地区医師会事務費800,000円 各地区読影会会場費 @6,000×130日=780,000円
	12. 役 務 費	1,040	1,040	0	通信運搬費100,000円、振込手数料70,000円 読影委員傷害保険料70,000円 デジタル画像読影装置保守点検料 800,000円
	13. 委 託 料	600	600	0	がん検診読影業務委託料(中部)
	14. 使 用 料	200	200	0	会場借上料
(2) 肺がん医療機関検診 読影委員会対策費	18. 備品購入費	250	250	0	ノートパソコン購入代金
	27. 公租公課費	1,200	1,200	0	
		603	603	0	

款 項 目	節	予算額	前年度予算額	増△減	摘 要
5) 乳がん対策費 (1) 乳がん対策費	8. 報 償 費	262	262	0	医療機関検診従事者講習会講師謝金 89,096円 座長等謝金12,600円 肺がん医療機関検診読影委員会出席手当 (2回) 160,000円
	9. 旅 費	85	85	0	肺がん医療機関検診読影委員会旅費 70,000円 講習会講師交通費15,000円
	11. 需 用 費	166	166	0	コピー代46,000円、消耗品費80,000円 印刷代40,000円
	12. 役 務 費	40	40	0	通信運搬費
	14. 使 用 料	50	50	0	会場借上料
		19,384	18,779	605	
	(1) 乳がん対策費	18,584	17,979	605	
	4. 共 済 費	26	26	0	非常勤任用職員(1人)社会保険料 20,000円 労働保険料6,000円
	7. 賃 金	332	317	15	臨時的任用職員1人分賃金(2か月分)
	8. 報 償 費	14,295	13,695	600	講習会講師謝金111,370円 マンモグラフィ読影料 ①300×13,000件×2人=7,800,000円 ②11,000×550人=6,050,000円 乳がん検診発見患者確定調査33,411円 各地区読影委員会・症例検討会出席手当 300,000円
	9. 旅 費	450	450	0	専門委員会(2回) 300,000円 車代20,000円 講習会講師交通費・宿泊代(1回) 130,000円
	11. 需 用 費	828	828	0	食糧費10,300円、会報印刷代150,000円 消耗品費70,000円、コピー代70,000円 看板作成費7,700円 各地区読影会会場費 ①6,000×70日=420,000円 地区医師会事務費100,000円
	12. 役 務 費	1,228	1,238	△10	通信運搬費110,000円 振込手数料84,000円 読影委員傷害保険料34,000円 保守点検料1,000,000円
	13. 委 託 料	800	800	0	がん検診読影業務委託料(東部、中部)
	14. 使 用 料	250	250	0	会場借上料
	27. 公租公課費	375	375	0	
	(2) マンモグラフィ読影 医師資格更新助成費	800	800	0	
	11. 需 用 費	10	10	0	コピー代5,000円、消耗品費5,000円
	12. 役 務 費	20	20	0	通信運搬費、振込手数料
6) 大腸がん対策費 (1) 大腸がん対策費	19. 負 担 金	770	770	0	乳がん検診マンモグラフィ読影認定医資格A及びB者更新に係る経費(受講料、受験料、旅費)助成10人分
		560	570	△10	
		560	570	△10	
	8. 報 償 費	145	145	0	講習会講師謝金111,370円 大腸がん検診発見患者確定調査謝金 33,411円
	9. 旅 費	220	220	0	専門委員会(2回)170,000円、車代10,000円 講習会講師交通費・宿泊代(1回)40,000円

款 項 目	節	予算額	前年度予算額	増△減	摘 要
7) 肝臓がん対策費	11. 需用費	105	105	0	会報印刷代58,000円、食糧費10,000円 看板作成代7,700円、消耗品費29,300円
	12. 役務費	50	60	△10	通信運搬費
	14. 使用料	40	40	0	会場借上料
		575	585	△10	
	(1) 肝臓がん対策費	575	585	△10	
	8. 報償費	145	145	0	講習会講師謝金111,370円 肝臓がん検診発見患者確定調査33,411円
	9. 旅費	240	240	0	専門委員会(2回)170,000円 症例研究会旅費20,000円 講習会講師交通費・宿泊代40,000円 車代10,000円
	11. 需用費	80	80	0	会報印刷代55,000円、食糧費2,000円 コピー代10,000円 看板作成代7,700円、消耗品費5,300円
	12. 役務費	40	50	△10	通信運搬費
	14. 使用料	70	70	0	会場借上料
8) がん検診精度確保対策費		3,004	3,004	0	
	(1) がん検診精度確保対策費	3,004	3,004	0	
	8. 報償費	850	850	0	講習会講師謝金460,000円 症例研究会等出席手当360,000円 各がん検診症例研究会謝金30,000円
	9. 旅費	870	870	0	各がん検診症例研究会旅費570,000円 学会旅費300,000円
	11. 需用費	980	980	0	報告書印刷代820,000円、会議費20,000円 資料印刷代50,000円、消耗品費40,000円 コピー代30,000円、看板代20,000円
	12. 役務費	150	150	0	通信運搬費
	14. 使用料	154	154	0	会場借上料
		5,257	4,927	330	
	9) 若年者心臓検診対策費	5,257	4,927	330	
	(1) 若年者心臓検診対策費				
9) 若年者心臓検診対策費	8. 報償費	3,996	3,741	255	講習会講師謝金111,370円 心電図判読料@170×22,850件=3,884,500円
	9. 旅費	653	653	0	専門委員会(1回)100,000円 車代1,000円 講習会旅費130,000円 若年者心疾患・生活習慣病対策協議会旅費(岐阜市)422,000円
	11. 需用費	408	333	75	消耗品費34,800円、食糧費5,000円 県教職員名簿2,000円 会報印刷代80,000円、コピー代50,000円 看板代7,700円 各地区事務費@10×22,850件
	12. 役務費	50	50	0	通信運搬費
	14. 使用料	50	50	0	会場借上料
	19. 負担金	20	20	0	若年者心疾患・生活習慣病対策協議会年会費(2人)
	27. 公租公課費	80	80	0	

款 項 目	節	予算額	前年度予算額	増△減	摘 要
10) 母子保健対策費		829	679	150	
(1) 母子保健対策協議会対策費		829	679	150	
	7. 賃 金	20	20	0	講習会（1回）アルバイト代2名分
	8. 報 償 費	89	89	0	講習会講師謝金44,454円×2人×1回
	9. 旅 費	500	350	150	専門委員会（1回）160,000円 車代2,000円、小委員会（3回）140,000円 講習会旅費58,000円 拡大マス小委員会（3回）140,000円
	11. 需 用 費	90	90	0	消耗品費6,000円、コピー代19,000円 会議費5,000円、会報印刷代40,000円 資料印刷代20,000円
	12. 役 務 費	30	30	0	通信運搬費
	14. 使 用 料	100	100	0	会場借上料（1回分）
11) 県民健康対策費		3,011	3,011	0	
(1) 疾病構造調査等研究費		3,011	3,011	0	
	8. 報 償 費	2,500	2,500	0	疾病構造調査研究謝金（5項目） 2,000,000円 母子保健調査研究謝金500,000円
	9. 旅 費	41	41	0	専門委員会（1回）40,000円、車代1,000円
	11. 需 用 費	330	330	0	報告書印刷製本費164,000円 会議費5,000円 会報印刷代50,000円、コピー代21,000円 消耗品費90,000円
	12. 役 務 費	130	130	0	通信運搬費
	14. 使 用 料	10	10	0	会場借上料
12) 公衆衛生活動費		2,139	2,139	0	
(1) 地域保健対策費		451	493	△42	
	8. 報 償 費	121	121	0	「健康相談室」原稿料 @5,011×24回
	9. 旅 費	201	201	0	専門委員会（1回）80,000円、車代1,000円 調査研究作業部会（2回）120,000円
	11. 需 用 費	77	119	△42	会報印刷代30,000円、消耗品費21,000円 食糧費8,000円、コピー代18,000円
	12. 役 務 費	32	32	0	通信運搬費
	14. 使 用 料	20	20	0	会場借上料
(2) 健康教育対策費		450	450	0	
	8. 報 償 費	260	260	0	各地区健康教育活動講演会講師謝金 260,000円
	9. 旅 費	30	30	0	各地区健康教育活動に係った出席旅費 30,000円
	11. 需 用 費	90	90	0	看板代30,000円、コピー代40,000円 印刷代20,000円
	12. 役 務 費	10	10	0	通信運搬費
	14. 使 用 料	60	60	0	会場借上料

款 項 目	節	予算額	前年度予算額	増△減	摘 要
(3) 公開健康講座 対策費		284	242	42	
	8. 報 償 費	207	165	42	保健の窓原稿料@10,023×5回=50,115円 講師謝金@20,046×5回=100,230円 スライド作成費@11,137×5回=55,685円
	9. 旅 費	32	32	0	講師旅費10,780円、司会旅費20,000円 車代1,220円
	11. 需 用 費	25	25	0	コピー代
	12. 役 務 費	10	10	0	通信運搬費
	14. 使 用 料	10	10	0	会場借上料
(4) 生活習慣病対策 セミナー対策費		954	954	0	
	8. 報 償 費	570	570	0	保健の窓原稿料@10,023×7回=70,161円 講師謝金@20,046×16回=320,736円 スライド作成費@11,137×16回=178,192円
	9. 旅 費	78	78	0	講師旅費36,000円、司会旅費42,000円
	11. 需 用 費	236	236	0	印刷代200,000円、消耗品費36,000円
	12. 役 務 費	40	40	0	通信運搬費
	14. 使 用 料	30	30	0	会場借上料
13) 生活習慣病対策費		1,650	1,930	△280	
(1) 生活習慣病対策費		1,650	1,930	△280	
	8. 報 償 費	401	401	0	一般向け講習会(2回)、多職種連携従事 者研修会(2回) 講師謝金401,000円
	9. 旅 費	629	829	△200	専門委員会190,000円 講習会旅費35,000円、車代4,000円 脳卒中に係る小委員会(2回)200,000円 心疾患に係る小委員会(2回)200,000円
	11. 需 用 費	440	470	△30	会報印刷代270,000円、食糧費30,000円 予防啓発資料作成費60,000円 看板作成代7,700円、コピー代40,000円 消耗品費32,300円
	12. 役 務 費	60	110	△50	通信運搬費
	14. 使 用 料	120	120	0	会場借上料
14) 地域医療研修及び 健康情報対策費		139	139	0	
(1) 地域医療研修及び 健康情報対策費		139	139	0	
	9. 旅 費	100	100	0	専門委員会(1回)、車代
	11. 需 用 費	20	20	0	食糧費、会報印刷代
	12. 役 務 費	7	7	0	通信運搬費
	14. 使 用 料	12	12	0	会場借上料
支 出 合 計		78,774	77,511	1,263	

令和6年度鳥取県健康対策協議会予算の概要

(単位：千円)

事業名	支出予算額	収 入 予 算 額					
		県支出金	事業団支出金	市町村等支出金	その他委託金	医師会補助金	利息その他
1. がん登録対策	7,803	7,242				24	537
2. 胃がん対策	5,387	262	4,840		220		65
3. 子宮がん対策	1,428	270	1,009			80	69
4. 肺がん対策	21,031	863	4,586	15,400	132		50
5. 乳がん対策	19,384	1,060	10,010	7,700	77		537
6. 大腸がん対策	560	260				130	170
7. 肝臓がん対策	575	293				110	172
8. がん検診精度 確保対策	3,004	2,904				45	55
9. 若年者心臓検診 対策	5,257	200	4,400		627		30
10. 母子保健対策	829	805					24
11. 県民健康対策	3,011	2,973					38
12. 公衆衛生活動 対策	2,139	1,450	400			195	94
13. 生活習慣病対策	1,650	1,600				20	30
14. 地域医療研修及び 健康情報対策	139					130	9
15. 総 務 費	6,577	3,982				566	2,029
合 計	78,774	24,164	25,245	23,100	1,056	1,300	3,909